

令和元年度決算主要事業の概要 令和元年度決算事業等説明資料

◆地方自治法第 233 条第 5 項に規定する「主要な施策の成果を説明する資料」

令和元年度主要事業の概要・・・P 1

令和元年度決算事業等説明資料・・・P 34

京都府 宮津市

令和元年度決算(案) 主要事業の概要

※事業の番号に○がついているものは、別添の「令和元年度決算 事業等説明資料」での説明があるもの。

■暮らしの安全・安心対策

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
○1	災害復旧事業 (公共土木施設災害復旧事業)	750,030	868,755	868,754,910	714,562,840	◆平成30年7月豪雨災害に係る過年度災害復旧事業	土木管理課 都市住宅課
○2	充実 自治会活動支援事業	20,571	37,120	37,002,000	36,816,576	◆自治会活動への支援 ◆自治会集会施設等の整備への補助	総務課
○3	新規 地域防犯の推進 (行政事務事業・財産管理事業)		2,189	2,224,000	2,223,447	◆市による防犯カメラ設置 ◆公用車へのドライブレコーダー設置を契機とする安全・安心(防犯)の推進	総務課 財政課
4	地区防災計画策定の推進 (防災活動事業)	0	51	51,000	0	◆地区防災計画作成の推進 ・9自治会で地区防災計画説明会 ・4自治会で地区防災計画作成	消防防災課
○5	KTR支援事業	187,969	314,960	312,613,000	237,893,362	◆鉄道施設等の維持管理・整備を 沿線自治体で支援(一部国の補正予算活用) ◆安全緊急対策(法面防護工事等)の実施 ほか	企画課
○6	地方バス路線運行維持対策事業	35,661	44,965	45,029,000	45,028,265	◆地方バス路線の運行維持のための支援 ◆枝線6路線の再編による生活路線の維持	企画課
○7	新規 公共交通空白地有償運送支援事業	—	R1.12補正 459 R2.3補正 218	777,000	740,188	◆地域主体の「公共交通空白地有償運送」に取り組む協議会の運行準備経費の支援 (上宮津地区、養老・日ヶ谷地区)	企画課
○8	新規 火葬場のあり方検討 (火葬場管理運営事業)	—	645	645,000	584,887	◆市民、学識経験者などによる検討委員会の開催(3回) ◆火葬場に関する現状と今後の見通し、課題等の調査分析、新施設整備のデータ整理等	市民課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
9	宮津与謝環境組合分担金	388,213	当初予算 1,634,108 R1.6補正 15,028	1,649,136,000	1,610,559,000	◆宮津与謝クリーンセンターの整備、運営等 宮津与謝環境組合への分担金 ※R2.4：施設実質稼働(試運転)、R2.7：施設本格稼働	市民課
10	地域再建被災者住宅等支援事業	5,674	1,120	1,000,000	1,000,000	◆平成30年7月豪雨による被災者住宅再建支援 (平成30年度未実施分)	社会福祉課
11	新し尿処理施設整備準備事業	—	当初予算 11,814 R2.1月補正 1,621	13,435,000	10,697,700	◆新し尿処理施設整備に向けた地質調査等	市民課 上下水道課
12	充 実 住宅耐震化促進事業	1,556	4,665	4,665,000	2,404,000	◆木造住宅耐震診断、木造住宅耐震改修助成 ◆民間施設ブロック塀除却補助	都市住宅課

■学校教育・子育て支援の充実

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
13	新規 病児・病後児保育施設運営事業	—	1,790	1,790,000	1,688,720	◆宮津市、伊根町、与謝野町の共同実施による病児・病後児保育事業	社会福祉課
14	新規 医療的ケア児保育支援モデル事業 (認定こども園運営事業)	—	3,754	3,681,000	1,267,000	◆医療的ケアを必要とする子どもの受入体制整備に対する支援 ※対象施設 吉津子ども園分園(マ・ルート)	社会福祉課
15	充実 小中一貫教育推進事業	13,407	当初予算 11,869 R1.9補正 203 R1.12追加補正 25	11,983,000	11,261,242	◆栗田学院本格実施、宮津学院試行実施、 4小学校連携推進 ・学力サポートコーディネーターの配置 ・小中一貫教育専門職員の配置 など	学校教育課
16	スクールバス購入事業 スクールバス運行事業	82,975	当初予算 56,498 R2.3補正 4,700	61,265,000	59,275,735	◆専用スクールバス車両(25人乗り車両、1台)の購入 【平成30年度からの繰越事業分】 ◆専用スクールバス(9台)の運行 など	学校教育課
17	充実 学校教育環境の整備・充実 (小学校施設整備事業、幼稚園施設整備事業)	372,473 ※前年度繰越含む	184,500	183,987,598	167,071,583	◆国の補正予算を活用した小学校及び幼稚園へのエアコン設置(5小学校、2幼稚園)ほか[平成30年度からの繰越事業分] ※全小学校・中学校・幼稚園の普通教室への設置完了	学校教育課
18	充実 学校ICT環境の充実 (小学校管理・教育振興事業、中学校管理・教育振興事業、幼稚園管理・教育振興事業)		11,572	11,572,000	11,302,200	◆学校ICT環境の充実(小、中、幼) 校務用PCの更新におけるタブレット型パソコンの導入等	学校教育課
19	充実 のびのび放課後クラブ事業	97,336	64,881	64,881,000	59,116,150	◆市設置のびのび放課後児童クラブの運営 など ※栗田・府中小内で新規開設、開設時間を午後7時まで延長 ◆吉津小学校内での新規開設に向けた施設整備	学校教育課

【まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく事業】

1. しごとをつくり、安心して働けるようにする

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
20	浜町にぎわいづくり推進事業	62,400	58,337	58,309,000	58,292,436	◆道の駅「海の京都 宮津」及び立体駐車場の運営 ◆地域振興拠点施設の具体化	商工観光課
21	世界遺産登録推進事業	1,427	1,414	1,416,000	1,416,000	◆京都府・1市2町による天橋立の世界遺産登録の推進 ◆天橋立を世界遺産にする会の活動支援	社会教育課
22	インバウンド推進事業	2,421	959	959,000	648,965	◆世界で最も美しい湾クラブ活動に係る経費	商工観光課
23	北前船港町まちづくり事業	4,074	1,428	1,456,000	1,327,210	◆北前船まちづくり委員会への活動支援 ◆北前船寄港地の日本遺産に係る活動経費	商工観光課
24	丹後ちりめん創業300年事業	131	131	131,000	109,000	◆丹後ちりめん創業300年事業実行委員会への負担金	商工観光課
25	里の地域資源活用事業	39,550	当初予算 12,225 R1.12補正 7,183	19,395,000	16,125,142	◆オリーブの生産拡大支援 ◆地域おこし協力隊の配置 ほか	農林水産課
26	地産地消促進事業	716	571	571,000	549,113	◆学校給食における使用米をブレンド米から宮津産コシヒカリへ切り替えたことにより生じる価格差を支援（2小学校及び給食センター）	農林水産課
27	山の地域資源活用事業	5,198	2,374	2,374,000	2,253,750	◆放置竹林の整備と竹のカスケード利用の促進	商工観光課
28	海の地域資源活用事業	4,762	当初予算 1,101 R1.9補正 1,712	2,820,000	2,820,000	◆水産振興の取組（岩がき育成筏や原木魚礁の設置など）に対する支援	農林水産課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
29	新規 元気な営農推進事業	802	6,351 4,331	10,682,000	10,505,000	◆老朽化した施設等の更新に対する支援 ◆AI・ICT等先端技術の生産現場への実装に対する支援	農林水産課
30	観光商業施設運営支援事業	3,000	3,000	3,000,000	3,000,000	◆宮津漁師町観光商業センター（ととまーと）の指定管理者の広報事業に対する支援	商工観光課
31	農水商工親連携推進事業	8,255	2,482	2,484,000	2,074,917	◆大和学園連携事業（アドバイザー派遣、食のブラッシュアップセミナー） ◆特産品等振興事業助成（5件） ◆農商ビジネスフェア(北部地域連携事業)負担金	商工観光課
32	魅力ある観光地づくり支援事業	48,286	47,658	47,559,000	46,513,680	◆海の京都DMO天橋立地域本部への支援 ・観光振興交付金、観光案内所開設等への支援、地域おこし協力隊の配置、観光推進会議の開催 ◆海の京都DMOに係る負担金	商工観光課
33	宮津天橋立周遊観光推進事業	9,278	4,200	4,200,000	4,200,000	◆海を活用した宮津天橋立周遊の実施(渋滞緩和策と海上交通を活用した新たな観光コースの定着) ◆夜の賑わいの創出(ライトアップ支援)	商工観光課
34	美しく豊かな阿蘇海推進事業	302	384	383,000	280,440	◆「阿蘇海の日」事業の実施（啓発、清掃活動） ◆阿蘇海等環境改善啓発ポスターの展示、啓発 ◆阿蘇海環境づくり協働会議への参画	市民課
35	景観まちづくり推進事業	6,681	47,271	47,511,000	43,519,940	◆市道島崎公園線街なみ環境整備工事 ◆「海の京都」の重点整備地区である文珠・府中地区の界限景観まちづくりの推進 など	都市住宅課
36	重要文化的景観保護推進事業	13,600	6,000	5,549,000	700,000	◆国の重要文化的景観の追加選定に向けた調査報告書の作成等（※印刷製本費等1,300千円をR2に繰越）	社会教育課
37	都市公園等整備事業	92,687	8,393	8,393,000	8,119,312	◆西宮津公園プール改修 ほか	都市住宅課

2. みやづを担う次代の人づくり

- (1) ふるさとに愛着を持つ次世代育成
- (2) 自らしごとを生み出す人材の育成
- (3) 地域で活躍する人材の育成

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
38	元気な里づくり推進事業	3,017	当初予算 4,000 R1,9補正 250	4,250,000	3,920,923	◆農村集落活性化を担う人材の育成ほか (地域おこし協力隊の配置)	農林水産課
39	人・農地プラン策定事業 農地中間管理事業	4,072	当初予算 2,482 R2,3補正 5,166	7,648,000	7,362,900	◆人・農地プランの策定、見直し(新規1地域、見直し5地域) ◆農地中間管理事業による農地集積の推進	農林水産課
40	新規就農者育成支援事業	6,000	7,980	7,980,000	5,708,838	◆新規就農者5名に農業次世代人材投資資金を交付 ◆1名に対して就農研修資金償還助成を実施	農林水産課
41	新規就漁者育成支援事業	2,335	1,495	556,000	495,000	◆新規漁業就業者の育成及び若手・中堅漁業者の経営力向上を図る実践型研修機関「海の民学舎」の運営	農林水産課
42	介護人材確保推進事業	1,782	2,500	2,517,000	2,517,000	◆福祉職場に従事する人材の育成 ・介護福祉士奨学金制度、民間が行う講座や介護福祉士等受験対策講座受講者への支援	社会福祉課
43	次世代人材育成事業	9,268	12,650	12,650,000	11,598,436	◆次世代人材の育成 ・新春経済講演会への高校生参加支援 ・提案型地域おこし協力隊の配置(3名) ・市内高校との連携事業(2高校)	企画課 商工観光課

3. みやづへの人の流れをつくる

- (1) U・Jターン受入促進体制の充実強化
- (2) 企業誘致、起業支援、雇用マッチングの推進
- (3) 大学等との連携

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
44	新規 大学等地域活動連携推進事業	—	600	600,000	554,000	◆大学との連携による地域の課題解決に向けた取組の推進（4プロジェクト）	企画課
45	企業誘致推進事業	4,091	5,767	5,667,000	3,349,097	◆雇用促進奨励金（1件400千円）など	商工観光課
46	広報活動事業	6,700	5,950	6,510,000	6,406,878	◆広報誌の発行、ホームページ運営 ◆激励と祝福の懸垂幕の掲出 ◆映像広報、フェイスブックなど配信	企画課
47	充実 特別養護老人ホーム整備費等補助事業	23,141	59,732	57,795,000	9,531,250	◆グループホームの拡大等に対する支援 ◆特養等福祉施設整備に係る償還金への助成 ◆雇用機会拡大補助金の交付	社会福祉課
48	魅力あるまち“みやづ”にU・Jターン 推進事業	20,190	19,044	19,044,000	12,835,357	◆サポートセンター運営等（移住者14世帯32人） ◆空き家・空き店舗改修等補助金（家9件・店2件） ◆総合的な空き家空地対策の推進	企画課 商工観光課
49	充実 つつじが丘団地宅地分譲事業 ＜土地建物造成事業特別会計＞	158,572	27,838	172,515,000	165,234,880	◆つつじが丘団地の分譲に係る経費 ・販売区画数：4区画 ・奨励金交付：3件	企画課
50	市営住宅管理事業	11,583	6,849	6,849,000	6,733,364	◆市営住宅の維持管理	都市住宅課
51	市営住宅環境整備事業	314,088	982,397	982,397,000	582,997,000	◆市営住宅の環境整備 ・タケ丘団地の建替え（工事請負費等）	都市住宅課
52	定住促進住宅管理事業	5,377	6,094	6,094,000	6,070,094	◆定住促進住宅（城東タウン）の維持管理	都市住宅課

4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- (1) 結婚・出産の支援
- (2) 子育て支援と学校教育環境の充実
- (3) 働きながら子育てしやすい社会の実現

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
53	男女共同参画推進事業	637	658	656,000	361,705	◆「宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン2017～」の推進 ・男女共同参画講演会、DV被害者支援 など	市民課
54	図書館管理運営事業	38,599	29,134	29,134,000	28,954,647	◆図書館の管理運営(図書購入、図書館講座の開催) ◆「はまなす文庫」(移動図書館車)の運行	社会教育課
55	学校給食運営事業	207,457	当初予算 208,801 R1.9補正 570	209,371,000	198,340,087	◆学校給食に係る経費	学校教育課
56	地域子育て支援事業	15,004	15,912	16,011,000	14,457,532	◆地域子育て支援拠点(にっこりあ)の運営 ◆ファミリー・サポート・センターの運営 など	社会福祉課
57	保育所運営事業	116,530	当初予算 119,946 R1.9補正 226 R1.12追加補正 309	123,871,000	123,738,394	◆公立保育所の運営(上宮津、養老、日置) ◆幼児教育・保育無償化の実施	社会福祉課
58	民間保育園運営事業	351,896	当初予算 279,725 R1.9補正 2,100	274,764,000	270,749,590	◆民間保育園への保育の実施委託 ◆幼児教育・保育無償化の実施 など	社会福祉課
59	認定こども園運営事業	75,077	当初予算 165,795 R1.9補正 8,000	180,856,000	180,387,710	◆認定こども園に対する施設型給付 ◆幼児教育・保育無償化の実施 など	社会福祉課
60	子育てのための施設等利用給付事業	-	R1.9補正 3,200	3,200,000	2,058,000	◆幼児教育・保育無償化に伴う認可外保育施設(キッズスクール等)への利用給付	社会福祉課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
61	新型コロナウイルス対策事業	—	R2,3追加補正 8,817	8,817,000	2,040,524	◆保育所等における感染症対策備品の購入 ◆小学校の臨時休校に伴う放課後児童クラブ、放課後等 デイサービスの日中時間開設対応	社会福祉課 学校教育課
62	妊活支援事業	182	330	330,000	148,450	◆不妊治療に係る経済的負担の軽減 6件 (一般不妊治療に要する費用の一部助成)	健康・介護課
63	出産安心サポート事業 子育て保健事業	11,327	当初予算 11,566 R1,9補正 2,009	14,936,000	13,883,929	◆妊婦健診 141人 ◆産婦健診 72人 ◆赤ちゃん訪問 72人 ◆未熟児医療費支援 2人 ◆乳幼児健診等	健康・介護課
64	婚活支援事業	160	200	200,000	198,000	◆婚活支援団体(が行う婚活イベント等)への支援 (3団体)	企画課

5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する
 (1) 地域生活拠点と地域コミュニティの充実強化
 (2) 京都府北部地域連携都市圏の形成と海の京都観光圏の推進

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
65	公民館管理運営事業	22,225	21,334	21,446,000	21,054,479	◆各地区公民館の管理運営及び公民館事業の実施 ◆各地区公民館にパソコン設置	社会教育課
66	公民館整備事業	—	7,500	7,500,000	4,238,080	◆日置地区公民館の移転に向けた実施設計 ◆府中公民館屋上防水改修工事	社会教育課
67	交通安全対策事業	1,993	1,677	2,582,000	2,580,474	◆交通安全に関する普及啓発活動の実施 ◆高齢者運転免許証自主返納支援 125件	市民課
68	まちづくり応援事業	45,990	71,384	70,824,000	42,905,332	◆地域会議の活動支援(11地域会議へ交付金) ◆まちづくり補助金(2団体) ◆宝くじコミュニティ助成事業(3団体) ◆ふるさと宮津応援寄附への対応	企画課

【みやづビジョン2011に基づく事業】

1 観光を基軸とした産業振興

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
69	宮津市B & G海洋センター指定管理料	9,300	9,000	9,000,000	9,000,000	◆宮津市B & G海洋センターの管理運営に係る経費 ※(公社)京都府青少年育成協会への指定管理料	企画課
70	宮津与謝広域シルバー人材センター運営補助事業	3,151	4,259	4,259,000	4,140,000	◆シルバー人材センターへの運営助成及び事務所移転への支援	商工観光課
71	農業委員会運営事業	5,910	5,974	5,974,000	5,843,552	◆農業委員会の運営に係る経費	農業委員会
72	機構集積支援事業	1,667	1,710	1,710,000	1,395,183	◆農地の利用状況調査及び利用意向調査等に係る経費	農業委員会
73	農業経営安定化対策事業	42	39	39,000	38,875	◆農業経営基盤強化資金に係る利子補給	農林水産課
74	中山間地域等直接支払交付金事業	38,037	38,195	38,151,000	38,062,669	◆中山間地域の農業生産活動への支援	農林水産課
75	多面的機能支払交付金等事業	26,284	27,400	27,123,000	25,459,697	◆21組織に農地維持・資源向上(共同)活動の支援 19組織に資源向上(長寿命化)活動の支援 ◆環境保全型農業への支援 など	農林水産課
76	担い手農家育成支援事業	200	200	200,000	31,476	◆認定農業者1名、認定新規就農者1名を新規認定	農林水産課
77	ふるさと産品等価格安定事業	24	63	63,000	23,100	◆地域特産品(コギク)生産農家の経営安定と産地育成を図るための価格安定制度を運用	農林水産課
78	経営所得安定対策推進事業	2,319	2,522	2,522,000	2,522,000	◆経営所得安定対策の推進(交付対象者78人)	農林水産課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
79	畜産業経営安定化対策事業	44	45	45,000	45,000	◆農家2名へ飼料作物生産振興奨励補助金の交付	農林水産課
80	元気な里づくり基盤整備事業	1,616	5,498	5,498,000	5,450,581	◆土地改良施設維持管理適正化事業（田原・ユル田水路） ◆農業用排水路等生産基盤改修の支援 など	農林水産課
81	緑の担い手等支援事業	243	263	263,000	182,236	◆新規就労者や林業労働者の共済事業に対する助成	農林水産課
82	林道等維持管理事業	3,731	3,100	3,100,000	3,069,000	◆丹後縦貫林道等の維持管理（草刈、側溝清掃）	農林水産課
83	林道等整備事業	4,285	5,000	4,961,000	4,840,340	◆林道橋梁点検業務（4路線5橋） ◆林道杉山線改修（舗装 L=314m）	農林水産課
84	森林整備事業	273	3,847	1,978,000	95,000	◆森林整備地域活動支援（宮津地方森林組合へ交付） （市有林における造林・保育事業は未実施）	農林水産課
85	新規 森林管理事業	—	R1.9補正 492	641,000	640,960	◆新たな森林の経営管理の取組の推進 ・宮津地方森林組合の体制整備支援620千円(基金充当) ※令和元年度森林環境譲与税額4,326千円	農林水産課
86	有害鳥獣対策事業	13,849	当初予算 14,333 R1.9補正 57,300	73,226,000	73,166,603	◆有害鳥獣の駆除(イノシシ633頭、シカ414頭ほか) ◆二ホンジカ捕獲強化奨励金（78頭） ◆有害鳥獣処理施設等を整備	農林水産課
87	水産業経営安定化対策事業	185	493	486,000	387,215	◆漁業近代化資金に係る利子補給	農林水産課
88	水産業施設指定管理料	3,941	36	491,000	490,489	◆海洋つり場の管理に係る経費 H30.7月豪雨災害復旧工事のため休業 ※小田宿野自治会への指定管理料	農林水産課
89	漁港管理事業	1,952	1,800	2,006,000	2,004,400	◆漁港・漁港海岸維持のための修繕等の実施 ◆漁船撤去処分に係る相続財産管理人選任手続き費用	農林水産課

90

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
90	海岸保全施設整備事業	52,260	125,742	125,742,960	90,241,960	◆栗田漁港海岸脇地区の離岸堤整備（1号基 L=55m）	農林水産課
91	農地農業用施設災害復旧事業	227,354	280,000	275,711,000	141,303,523	◆豪雨等により被災した農地・農業用施設の復旧 ・（29年災）農地4箇所、施設3箇所 ・（30年災）農地26箇所、施設21箇所ほか	農林水産課
92	林業施設災害復旧事業	65,635	47,192	51,481,000	51,480,360	◆豪雨等により被災した林地・林業施設の復旧 ・（30年災）林地1箇所、林道4路線ほか	農林水産課
93	その他公共施設災害復旧事業	2,840	30,500	30,541,000	30,540,400	◆豪雨等により被災した海洋釣り場施設の復旧 ・（30年災）遊歩道、取水施設	農林水産課
94	消費者行政活性化事業	4,090	3,952	4,050,000	3,977,351	◆宮津与謝消費生活センターの運営	商工観光課
95	商工会議所小規模事業者指導助成事業	7,350	6,550	6,550,000	6,550,000	◆中小企業者支援や経営指導等を行う商工会議所経営指導員の活動支援	商工観光課
96	中小企業等制度融資事業	204	265	265,000	162,114	◆中小企業等の制度融資に係る利子補給	商工観光課
97	海水浴場施設管理運営事業	4,704	3,885	3,885,000	3,885,000	◆天橋立、天橋立府中、丹後由良海水浴場のライフセイバー設置等に係る安全管理経費	商工観光課
98	世屋高原家族旅行村指定管理料	7,000	6,500	6,500,000	6,500,000	◆世屋高原家族旅行村の管理運営に係る経費 ※世屋高原活用協議会への指定管理料	商工観光課
99	宮津燈籠流し花火大会補助事業	7,000	6,000	6,000,000	6,000,000	◆宮津燈籠流し花火大会の開催支援	商工観光課
100	城下町宮津七万石「和火」補助事業	860	1,000	1,000,000	1,000,000	◆城下町宮津七万石「和火」の開催支援	商工観光課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
101	丹後きものまつりin天橋立補助事業	400	300	300,000	300,000	◆丹後きものまつりin天橋立の開催支援	商工観光課
102	郷土芸能保存伝承補助事業	400	300	300,000	300,000	◆郷土芸能の保存伝承支援	商工観光課

2 環境保全と生活環境の向上

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
103	環境保全推進事業	5,357	4,722	4,723,000	4,708,319	◆市公共施設維持管理（境美化作業員） ◆丹後の豊かな環境づくり推進会議負担金	市民課
104	みやづ環の地域づくり推進事業	413	450	450,000	267,801	◆市民対象に獣害対策講演会・ジビエ施設見学会開催 ◆小学生対象エコワークショップ ◆環境先進地の視察研修（リコー・オムロン等）	市民課
105	新エネルギー普及促進事業	1,178	700	700,000	460,000	◆住宅用の太陽光発電システム及び蓄電システムの設置 支援（2件、太陽光発電 8.61kw、蓄電池16.3kwh）	市民課
106	街路灯等LED化事業	9,907	9,890	9,890,000	9,829,880	◆市内防犯灯LED化に係るリース料(3,906基) ◆自治会からの新設要望への対応（4基）	市民課
107	公衆衛生対策事業	569	367	367,000	157,443	◆犬の登録事務、狂犬病予防注射に係る経費	市民課
108	浄化槽補助事業	28,489	24,176	24,176,000	24,159,619	◆浄化槽の設置補助 ◆高齢者世帯の排水設備補助 ◆浄化槽の維持管理補助	上下水道課
109	清掃工場管理運営事業	204,118	229,440	229,440,000	214,543,473	◆清掃工場の管理運営等経費	市民課
110	粗大ごみ処理施設管理運営事業	41,241	37,785	37,746,000	35,348,307	◆粗大ごみ処理施設の管理運営等経費	市民課
111	リサイクルセンター管理運営事業	42,944	40,684	40,684,000	39,181,075	◆リサイクルセンターの管理運営等経費	市民課
112	不燃物処理場管理運営事業	50,512	62,050	61,860,000	53,966,023	◆不燃物処理場の管理運営等経費 東部不燃物処理場維持管理業務 など	市民課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
113	ごみ等収集運搬処分事業	170,593	289,081	289,080,220	283,472,880	◆ごみ等の収集運搬処分に係る経費 ◆海岸漂着ごみ（府委託事業、台風災害）の運搬処分等 に係る経費	市民課
114	リサイクル等活動費助成事業	3,322	3,323	3,323,000	3,178,734	◆資源ごみリサイクル報奨金 ◆資源ごみ回収活動報奨金 112件 ◆環境美化事業補助金 10件	市民課
115	し尿処理施設管理運営事業	84,198	81,296	81,296,000	76,512,814	◆し尿処理施設の管理運営等に係る経費	市民課
116	し尿収集運搬事業	86,082	80,700	80,700,000	75,101,570	◆し尿の収集運搬に係る経費 19,899件	市民課
117	海岸漂着物回収・処理事業	726	1,649	1,443,000	1,365,460	◆宮津市管理海岸等における海岸漂着物の回収・処理経 費	市民課 農林水産課

3 教育の充実と人材育成

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
118	国際交流推進事業	6,526	1,424	1,424,000	684,000	◆デルレイビーチ市森上博物館学芸員訪問団の受入れ ◆Vietnam&Japan異文化交流会の開催	総務課
119	市民相談事業	447	525	525,000	414,640	◆法律相談など市民からの相談業務に係る経費 ・市民困りごと相談 35件 ◆犯罪被害者等支援に係る経費	市民課
120	人権啓発事業	1,548	1,506	1,522,000	1,459,548	◆人権に関する啓発事業に係る経費 ・人権市民のつどい、人権の花運動、人権教室など	市民課
121	隣保館等管理運営事業	8,513	8,399	8,416,000	8,325,549	◆隣保館の管理運営に係る経費	市民課
122	教育委員会活動事業	3,536	3,540	3,540,000	3,526,436	◆教育委員会の活動に係る経費	学校教育課
123	いじめ防止対策推進事業	40	226	226,000	0	◆宮津市いじめ問題対策連絡会議、宮津市いじめ防止 対策推進委員会、宮津市いじめ調査委員会の運営に 係る経費（実績なし）	市民課 学校教育課
124	英語指導事業	7,771	8,327	7,679,000	6,316,012	◆英語教育の充実を図るため、小・中学校に英語指導助 手(AET)を2名配置 ◆夏休み小学生英語合宿事業	学校教育課 社会教育課
125	教育支援センター事業	6,696	4,328	4,458,000	4,379,977	◆いじめ問題への迅速な対応と不登校児童生徒への支援 (教育相談室「こころのまど」、適応指導教室「こころ のひろば」の運営)	学校教育課
126	与謝野町宮津市中学校組合分担金	21,465	21,886	21,886,000	21,886,000	◆与謝野町宮津市中学校組合分担金	学校教育課
127	私立幼稚園振興助成事業	4,176	当初予算 5,483 R1.9補正 1,324	6,591,000	6,081,920	◆私立幼稚園児の保護者の経済的負担の軽減 (就園奨励費補助金による支援等) ※幼児教育・保育の無償化の実施(令和元年10月～)	学校教育課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
128	教育バス運行事業	3,131	3,451	3,923,000	3,922,401	◆教育バスの運行に係る経費	学校教育課
129	教育委員会事務局経費 (コミュニティ・スクール推進コーディネーターの配置等)	9,543	10,528	12,823,000	12,143,537	◆コミュニティ・スクール導入をフォローする「コミュニティ・スクール推進コーディネーター」の新規配置等	学校教育課
130	小学校管理・教育振興事業 (一部再掲)	104,036	当初予算 119,616 R1.9補正 1,000 R2.3補正 △ 10,000	110,584,000	105,404,630	◆小学校の管理運営、保健管理・健康保持増進、教育振興に係る経費	学校教育課
131	中学校管理・教育振興事業 (一部再掲)	38,726	48,735	48,735,000	42,828,077	◆中学校の管理運営、保健管理・健康保持増進、教育振興に係る経費	学校教育課
132	幼稚園管理・教育振興事業 (一部再掲)	23,527	当初予算 28,915 R1.9補正 2,017 R2.3補正 △ 2,300	28,521,000	24,456,392	◆幼稚園の管理運営、保健管理・健康保持増進、教育振興に係る経費 ※幼児教育・保育の無償化の実施(令和元年10月～)	学校教育課
133	就学児童援助事業 就学生徒援助事業	31,538	当初予算 36,895 R2.3補正 △ 3,900	32,994,000	28,901,636	◆経済的理由で就学が困難な、特別支援教育を受ける児童・生徒の保護者の経済的負担の軽減(学用品費等の支給) ※卒業アルバム代を品目に追加し支給	学校教育課
134	遠距離通学児童援助事業 遠距離通学生徒援助事業	1,721	1,418	1,419,000	1,390,160	◆遠距離通学児童・生徒通学費に係る保護者の経済的負担の軽減(定期代等の補助)	学校教育課
135	社会教育推進事業	8,016	8,074	7,962,000	7,804,115	◆中学生の主張大会、成人式の開催◆宮津市すこやか大学の運営◆視覚聴覚障害者成人講座、障害者青年学級、人権教育講座の開催◆企業人権教育推進協議会への支援	社会教育課
136	社会教育活用施設管理運営事業	5,731	5,420	5,420,000	5,344,608	◆社会教育活用施設の管理運営 (由良地区、日ヶ谷地区、上宮津地区、養老地区)	社会教育課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
137	文化振興推進事業	83	83	83,000	83,000	◆丹後文化芸術祭に係る負担金	社会教育課
138	市内遺跡発掘調査事業	2,554	2,000	2,096,254	2,096,254	◆開発行為に伴う試掘調査 2件 ◆安国寺遺跡の発掘調査（現地調査未実施） ※遺物の保存処理・整理事業を実施	社会教育課
139	文化財保護・活用推進事業	662	483	385,746	375,950	◆文化財保護審議会の開催・市指定文化財の指定 ◆文化財説明板の更新 など	社会教育課
140	重要文化財旧三上家住宅指定管理料	4,200	4,200	4,550,000	4,550,000	◆重要文化財旧三上家住宅の管理運営 ※元結屋27への指定管理料	社会教育課
141	みやづ歴史の館管理運営事業	440	495	732,000	729,576	◆テレビ共聴システムの保守	社会教育課
142	市民実践活動施設指定管理料	105,299	102,100	102,100,000	99,940,295	◆市民実践活動施設（宮津会館等）の管理運営に係る経費 ※（公財）市民実践活動センターへの指定管理料	総務課
143	みやづ歴史の館整備事業	3,402	1,400	1,265,000	1,265,000	◆空調用冷却塔自動制御機器の更新	社会教育課
144	歴史資料館管理運営事業	10	10	10,000	9,867	◆展示室、収蔵庫等設備の維持管理 （防虫剤等購入費）	社会教育課
145	新規 市民体育館整備事業	—	R1.6補正 2,800	2,689,000	1,877,040	◆市民体育館トレーニング室のランニングマシンの更新、増設（1台→2台）	社会教育課
146	充実 スポーツ振興事業	5,975	5,148	5,259,000	5,085,643	◆宮津市スポーツ推進委員による生涯スポーツの普及 ◆市民スポーツDAYの開催（参加者200名） ◆全国大会開催支援、宮津市スポーツ協会活動支援	社会教育課

4 健康増進と福祉の推進

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
147	新規 プレミアム付商品券事業	—	3,000	3,000,000	1,914,000	◆消費税率引き上げに伴う低所得者・子育て世帯に対するプレミアム付商品券発行に向けた経費 (システム改修費)	社会福祉課 商工観光課
		—	当初予算 9,285 R1.6補正 25,000 R1.9補正 100,000 R2.3補正 △75,225	59,060,000	48,487,368	◆消費税率引き上げに伴う低所得者・子育て世帯に対するプレミアム付商品券発行に向けた経費 (印刷費、換金等経費、販売経費等)	
148	新規 地域ささえあいセンター指定管理料	—	2,407	2,407,000	2,407,000	◆地域ささえあいセンターの管理運営に係る経費 ※宮津市社会福祉協議会への指定管理料	社会福祉課
149	民生児童委員協議会補助事業 児童委員活動費補助事業	7,514	6,438	6,438,000	6,424,929	◆民生児童委員による地域での助け合い活動の支援	社会福祉課
150	充実 社会福祉協議会運営補助事業	15,277	18,588	18,583,000	16,140,000	◆社会福祉協議会が行う社会福祉活動の支援	社会福祉課
151	くらしの資金貸付事業	1,983	2,500	2,500,000	1,785,000	◆生活の不安定な世帯への生活資金の貸付 ※雇止め等による離職者に対する貸付限度額の拡大をH21から継続中	社会福祉課
152	生活困窮者自立支援事業	2,716	3,146	3,146,000	2,741,350	◆生活困窮者の自立に向けた支援（相談支援、住宅手当、就労支援等）	社会福祉課
153	障害者福祉施設整備費補助事業	1,241	1,223	1,223,000	1,222,388	◆障害者福祉施設整備借入金償還助成	社会福祉課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
154	障害支援区分認定事業	2,012	1,345	1,443,000	1,326,416	◆障害支援区分認定審査会の設置・運営 (1市2町による共同設置) ◆障害支援区分認定のための調査等	社会福祉課
155	障害福祉サービス事業	549,178	当初予算 551,480 R2.3補正 10,000	562,967,000	562,759,007	◆障害福祉サービス費等の支給	社会福祉課
156	自立支援医療給付事業	24,466	20,670	21,241,000	21,219,302	◆身体の機能障害の除去・軽減を行い、日常生活に適應することを目的とした医療の提供	社会福祉課
157	補装具給付事業 日常生活用具給付事業	11,879	12,265	11,698,000	10,805,735	◆障害者の日常生活を容易にするための補装具等の給付	社会福祉課
158	地域生活支援事業	25,809	19,670	20,239,000	20,025,411	◆障害者の地域社会での自立した生活をサポート (相談支援、地域活動支援、移動支援等) ◆コミュニケーション支援、生活訓練等の実施 ◆外出困難な障害者に対する交通費の助成等	社会福祉課
159	特別障害者手当等給付事業	13,114	14,050	11,964,000	10,797,110	◆特別の介護を必要とする在宅重度障害者等に対する 手当の支給	社会福祉課
160	障害者福祉施設運営補助事業	79	100	126,000	125,828	◆北部障害者歯科診療所の運営補助	社会福祉課
161	重度心身障害児者医療費支給事業	43,423	42,834	42,834,000	35,827,911	◆75歳未満の重度心身障害児者医療費助成	社会福祉課
162	重度心身障害老人健康管理費支給事業	31,159	29,224	29,224,000	27,936,054	◆後期高齢者医療制度対象の重度心身障害者医療費助成	社会福祉課
163	老人ホーム入所措置事業	57,624	59,512	59,512,000	56,959,080	◆養護老人ホームへの入所措置	社会福祉課
164	敬老事業	2,746	2,640	2,640,000	2,481,564	◆地域ぐるみでの敬老活動支援	社会福祉課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
165	高齢者在宅生活支援事業	372	425	425,000	327,093	◆ひとり暮らし高齢者等への緊急通報措置の設置支援	社会福祉課
166	老人クラブ等助成事業	2,209	2,113	2,096,000	2,087,280	◆老人クラブの活動支援	社会福祉課
167	介護保険低所得者対策事業	1,348	1,800	1,800,000	1,202,315	◆社会福祉法人が行う生計が困難な介護保険サービス利用者への負担軽減(減免)支援 ・軽減人数92人 軽減総額5,811,175円	健康・介護課
168	介護予防安心住まい推進事業	0	160	160,000	0	◆要介護状態になるおそれの高い高齢者に対する住宅改修費の助成 ・実施件数0件	健康・介護課
169	老人医療費支給事業	18,802	14,544	14,544,000	12,568,426	◆老人医療費の助成(65歳以上70歳未満)	税務・国保課
170	国民年金事業	2,001	2,419	2,610,000	1,930,074	◆国民年金制度窓口業務に係る経費	税務・国保課
171	入院助産実施事業	—	450	450,000	0	◆経済的な理由で病院等での出産等が困難な妊婦に対する出産経費助成	社会福祉課
172	子育て支援医療費助成事業	39,190	35,718	37,194,000	37,192,476	◆中学校卒業までの乳幼児・児童・生徒の健康保持・増進を図るため、医療費を助成	社会福祉課
173	子ども・子育て会議運営事業	182	650	650,000	422,193	◆子ども・子育て会議の開催 ◆第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画の策定	社会福祉課
174	児童手当支給事業	207,445	208,625	202,628,000	200,418,640	◆児童手当	社会福祉課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
175	児童扶養手当支給事業	62,806	74,773	80,335,000	80,334,060	◆母子・父子家庭への児童扶養手当	社会福祉課
176	児童館運営事業	1,419	1,167	1,167,000	778,293	◆杉末児童館の管理運営 ・年間利用児童数 延866人	市民課
177	児童遊園管理事業	2,112	1,172	1,172,000	957,122	◆児童遊園の維持管理経費	社会福祉課
178	ひとり親家庭等支援事業	88	1,473	1,473,000	119,500	◆未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時給付金	社会福祉課
179	ひとり親家庭医療費支給事業	13,756	13,322	11,846,000	11,675,017	◆ひとり親家庭の医療費助成	社会福祉課
180	生活保護費給付事業	223,019	224,000	224,000,000	186,416,624	◆生活困窮者の必要最低限の生活保障 ◆自立に向けたサポートの実施	社会福祉課
181	就労自立給付金支給事業	0	100	100,000	0	◆就労による自立を促進させるための給付金	社会福祉課
182	災害救助事業	800	100	330,000	330,000	◆災害見舞金の支給	社会福祉課
183	診療所管理事業	7,062	7,164	7,353,000	7,157,364	◆養老診療所・養老歯科診療所、日置診療所、由良診療所に対する運営支援	健康・介護課
184	休日応急診療所の運営 <休日応急診療所事業特別会計>	20,234	22,497	22,497,000	21,268,075	◆日曜・祝日・年末年始における内科・小児科救急診療体制の確保 開所日数：76日、受診者数1,089人	健康・介護課
185	在宅当番医制運営事業	8,675	9,215	9,215,000	9,215,000	◆日曜・祝日・年末年始における外科救急診療体制の確保 開所日数：76日、受診者数1,601人	健康・介護課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
186	医師確保対策事業 看護師等確保対策事業	11,600	当初予算 15,400 R2.3補正 △ 7,400	8,000,000	8,000,000	◆府立医大附属北部医療センター等で医師として勤務しようとする者への奨学金 実績なし ◆府立医大附属北部医療センター等で看護師等として勤務しようとする者への奨学金 8名に貸与	健康・介護課
187	公共施設AED管理事業	1,480	798	798,000	632,020	◆公共施設へのAED(自動体外除細動器)の配備及び機器等の更新 本体更新1台ほか、除細動パッド及びバッテリー更新	健康・介護課
188	骨髄ドナー助成事業	140	140	140,000	0	◆日本骨髄バンクが実施する骨髄等提供斡旋事業の骨髄等提供者への支援 申請件数0件	健康・介護課
189	いきいき健康長寿のまち“みやづ” 推進事業	46,387	45,113	43,563,000	40,444,947	◆健康診査・がん検診等の実施 ◆食育講習会の開催 121回・1,459人 ◆地域巡回指導 56回・969人	健康・介護課
190	人間ドック助成事業 <後期高齢者医療特別会計>	2,354	3,237	3,237,000	2,974,000	◆人間ドック受診助成 75件	税務・国保課
191	天橋立健康ウォーク開催補助事業	1,700	1,900	1,900,000	1,900,000	◆天橋立ツデーウオークの開催支援 開催日：令和元年9月28日(土)、29日(日) 中央会場：島崎公園芝生広場 参加者：1,796人	健康・介護課
192	充実 予防接種事業	46,794	47,778	47,778,000	46,622,945	◆各種予防接種の実施 ※R1年に新たに成人男性に対する風しん予防接種を実施(R3までの3年間実施)	健康・介護課

5 暮らしの基盤の整備

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
193	電算管理事業	104,733	126,846	126,846,000	126,376,604	◆電算システムに係る維持管理等経費	総務課
194	財産管理事業 (宮津市福祉・教育総合プラザ関連)	46,212	47,767	48,536,000	48,408,674	◆宮津市福祉・教育総合プラザに係る維持管理経費	財政課
195	庁舎等管理事業	28,474	33,290	32,959,000	31,974,809	◆市役所庁舎に係る維持管理経費	総務課 財政課
196	地域交通政策事業	121	265	265,000	118,702	◆地域公共交通会議に係る経費	企画課
197	公共交通利用促進事業	8,197	7,700	8,540,000	8,262,676	◆高齢者片道200円レール事業の実施 宮津市内延べ利用者数 20,914人 (2市2町合計 延べ利用者数 43,924人)	企画課
198	宮津市ターミナルセンター管理事業	17,725	16,439	16,890,000	16,530,007	◆ターミナルセンターの管理運営経費	企画課
199	宮津市ターミナルセンター整備事業	—	1,000	1,000,000	986,700	◆宮津ターミナルセンター高圧電気設備の改修	企画課
200	丹後地区土地開発公社負担金	153	152	152,000	152,000	◆丹後地区土地開発公社への運営費負担金	財政課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
201	地域情報化施設管理事業	35,274	32,567	32,567,000	28,559,962	◆光ファイバー通信施設の運営・管理 (年度末利用回線数1,153件)	企画課
202	ふるさと宮津を守り育てる条例審議会運営事業	0	81	81,000	0	◆審議会未実施	消防防災課
203	税収入等過誤納還付金 税収入等還付加算金	3,824	5,100	10,735,000	10,724,957	◆市税の過年度税額更正等による過誤納金の還付 ◆過年度還付金に係る還付加算金	税務・国保課
204	固定資産評価審査委員会運営事業	59	74	167,000	157,210	◆固定資産評価審査委員会の運営経費 委員会開催：5回	税務・国保課
205	税務共同化事業	16,849	18,934	20,564,000	20,375,480	◆京都地方税機構の運営費負担金	税務・国保課
206	固定資産評価替事業	2,376	12,305	12,305,000	12,239,000	◆固定資産の適正な評価に要する経費	税務・国保課
207	戸籍住民基本台帳管理運営事業	16,830	当初予算 20,700 R1.9補正 1,985 R1.12補正 1,132 R2.3補正 655	24,472,000	20,599,493	◆住基・戸籍等の窓口サービスに係る経費 ◆マイナンバーカード対応に係る経費 マイナンバーカードの交付404件（累計2,107件）	市民課
208	道路維持修繕事業	27,442	39,150	38,813,000	37,107,464	◆道路パトロールの実施 ◆道路等の維持修繕	土木管理課
209	除雪事業	49,908	57,628	57,628,000	43,396,564	◆除雪に係る経費	土木管理課
210	道路新設改良事業	70,225	当初予算 154,145 R2.3補正 △42,200	111,945,000	74,656,619	◆安全で快適な生活環境づくりのための道路の整備 (社会資本整備総合交付金活用)	土木管理課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
211	交通安全施設整備事業	3,547	3,400	3,737,000	3,729,913	◆交通安全施設の整備	土木管理課
212	河川管理事業	6,300	17,125	16,725,000	11,725,323	◆河川等の維持管理	土木管理課
213	急傾斜地崩壊対策事業	16,171	7,000	7,400,000	7,400,000	◆急傾斜地崩壊対策事業費負担金 (小香河、小田宿野、池ノ谷)	土木管理課
214	都市計画事務事業	8,607	9,913	9,983,000	5,216,888	◆都市計画マスタープラン見直し検討業務 ほか	都市住宅課
215	都市下水道管理事業	5,459	14,650	13,501,000	12,419,037	◆都市下水道の維持管理及び修繕 ◆雨水タンクの助成	土木管理課
216	排水機場維持管理事業	4,039	3,266	3,179,000	3,177,665	◆浜町排水機場の維持管理等	土木管理課
217	排水機場整備事業	7,191	R1.6補正 5,000	5,236,000	5,236,000	◆浜町排水機場小口径ポンプの緊急改修	土木管理課
218	都市公園等管理運営事業	16,656	16,752	17,417,000	17,300,199	◆都市公園等の施設管理	都市住宅課
219	自然公園施設管理事業	1,484	1,786	1,773,000	1,767,338	◆自然公園の施設管理	都市住宅課
220	市営駐車場管理運営事業	6,215	5,900	5,938,000	5,932,055	◆宮津駅前・天橋立駐車場の管理	商工観光課
221	地籍調査事業	27,213	5,802	5,802,000	5,801,000	◆地籍調査結果の確認（閲覧）等	土木管理課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
222	宮津与謝消防組合分担金	370,245	347,005	347,005,000	347,005,000	◆組合経費を構成1市2町で分担	消防防災課
223	消防団運営事業	53,074	当初予算 34,924 R1.9補正 1,476	36,064,000	33,788,316	◆平成31年4月1日消防団員数396名 ◆元年度に実施した主な消防団行事 ・春季連合訓練(4月)、団長点検(7月)、出初式(1月)	消防防災課
224	消防施設管理事業	6,605	当初予算 5,866 R1.9補正 1,881	8,029,000	8,022,402	◆消防車両・ポンプの点検・車検・修繕 2,056千円 ◆消火栓、防火水槽の修繕 1,840千円	消防防災課
225	消防施設整備事業	20,902	6,109	6,109,000	5,703,840	◆養老分団の車両更新(大島消防車庫) ・軽四小型ポンプ積載車(救助資機材積載型)	消防防災課
226	水防事業	1,270	580	601,000	600,018	◆自治会等の水防活動に対し土のう資材を支給支援 ・61自治会、土のう袋15,116枚、山土47杯	消防防災課
227	防災施設管理事業	4,782	5,553	5,553,000	5,200,569	◆防災行政無線の保守点検業務委託 3,740千円	消防防災課

市民との協働

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
228	議会運営事業	7,052	7,845	7,845,000	5,706,298	◆議会基本条例を踏まえた議会活性化の取組の推進 (インターネット録画配信、一般質問通告一覧表 新聞折込み、会議録検索システム、議会だより、 議員研修会等)	議事調査課
229	職員研修事業	1,858	1,832	1,627,000	743,330	◆職員研修等に係る経費	総務課
230	人事管理事業	13,663	22,441	12,516,000	11,399,096	◆人事管理に係る経費	総務課
231	自治功労者等表彰事業	242	431	431,000	283,290	◆自治功労者表彰に係る経費	総務課
232	新規 総合計画策定事業	—	672	672,000	383,820	◆新総合計画の策定に向けて、市民・事業者等との意見 交換等を実施 ・ふれあい座談会(6回) ・どこでも市長室(5回) ・タウンミーティング(5回×2回) 延べ361人参加	企画課
233	まち・ひと・しごと創生有識者会議運営 事業	104	372	372,000	200,142	◆まち・ひと・しごと創生有識者会議の運営経費	企画課
234	公平委員会運営事業	441	333	333,000	323,872	◆公平委員会の運営及び委員研修等に係る経費	監査事務局
235	自治振興交付金事業	1,131	当初予算 1,304 R1.9補正 792	2,096,000	2,092,702	◆財産区の収入の一部を地域振興に係る経費として 自治会に支給 (上宮津、中村、脇、松尾、梅ヶ谷)	農林水産課
236	選挙管理委員会運営事業	764	750	740,000	727,905	◆選挙管理委員会の運営経費	総務課
237	新規 参議院議員通常選挙執行事業	0	14,000	14,491,000	14,487,033	◆参議院議員通常選挙の執行経費	総務課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
238	新規 京都府議会議員一般選挙執行事業	4,373	8,200	8,151,000	8,145,301	◆京都府議会議員一般選挙の執行経費	総務課
239	統計調査事業	3,781	4,416	4,416,000	3,557,569	◆統計調査に係る経費	総務課
240	監査委員運営事業	3,985	3,814	3,814,000	3,784,654	◆監査の実施及び監査委員の研修に係る経費	監査事務局
241	市債償還元金 市債利子 一時借入金利子	1,507,477	1,407,594	1,404,067,000	1,403,375,963	◆市債の償還金（元金・利子） ◆一時借入金利子	財政課

その他

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
242	新規 公共施設マネジメントの推進 (財産管理事業)	—	13,087	13,480,000	13,479,616	◆個別施設の対応方針を示す再編方針書(案)の作成 ◆市有財産処分に向けた測量、鑑定評価 ほか	財政課
243	新規 市税のあり方検討 (賦課徴収事業)	0	301	514,431	361,105	◆市税等のあり方検討 委員会開催：3回	税務・国保課
特1	土地建物造成事業特別会計	158,571	当初予算 27,838 R1.6補正 144,677	172,515,000	165,234,880	宅地造成・公共用地等の造成事業の円滑な事業実施 を行う。	企画課
特2	国民健康保険事業特別会計	2,321,856	当初予算 2,201,605 R1.9補正 5,412 R1.12追加補正 86 R2.3補正 14,466	2,221,569,000	2,162,626,421	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者 に必要な保険給付、保健事業を行った。	税務・国保課
特3	後期高齢者医療特別会計	317,243	329,962	329,962,000	323,415,643	原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等、医療 の適切な確保を図るため、京都府後期高齢者医療広域 連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制 度の安定的な運営を図った。	税務・国保課
特4	介護保険事業特別会計	2,894,685	当初予算 2,875,635 R1.9補正 86,079 R1.12追加補正 289 R2.3補正 △24,982	2,937,021,000	2,880,155,788	介護保険事業の運営を行う。	健康・介護課
特5	介護予防支援事業特別会計	7,501	18,377	18,377,000	13,076,721	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの 作成等を行う。	健康・介護課

	事業名	H30年度 決算額 (千円)	R元年度 当初予算額 (千円)	R元年度 最終予算額 (円)	R元年度 決算額 (円)	事業の概要	課名
特6	下水道事業特別会計	1,616,609	当初予算 1,933,620 R1.9補正 △ 1,300 R1.12補正 △ 700 R1.12追加補正 100	1,931,720,000	1,391,225,778	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。	上下水道課
特7	休日応急診療所事業特別会計	20,234	22,497	22,497,000	21,268,075	休日応急診療所事業の運営 開所日数：76日、受診者数1,089人	健康・介護課
特8	財産区特別会計	4,280	当初予算 25,710 R1.9補正 886	26,596,000	6,183,227	◆各財産区の適正な管理運営を行った。	農林水産課
特9	水道事業会計	854,456	当初予算 1,270,093 R1.9補正 249 R1.12追加補正 331 R2.3補正 30,431	1,301,104,000	993,683,910	安全でおいしい水を供給する。	上下水道課

人件費の推移(全会計ベース)

(単位:円)

区分	職員数 (4/1)	ラスハイレ 指数	議員		委員等報酬		市長等特別職(H29～教育長含む)		一般職職員給(H29～教育長除く)			退職手当組合負担金	臨時職員賃金	これらに係る共済費	計 計
			報酬	手当	各種委員会等報酬	嘱託職員報酬	給料	手当(退手除く)	給料	手当(時間外手当除く)	時間外手当	退職手当組合負担金	臨時職員賃金	これらに係る共済費	
平成28年度	234	98.6	68,400,666	21,303,750	109,650,671	143,645,974	15,108,000	6,213,325	905,225,907	459,726,096	114,729,000	198,818,776	46,496,127	353,293,508	2,442,611,800
平成29年度	235	97.5	66,661,666	21,490,625	116,063,134	168,911,029	21,444,000	8,898,150	902,650,737	462,464,374	132,391,000	200,100,367	46,550,681	368,756,410	2,516,382,173
平成30年度	233	96.8	59,037,627	18,197,874	104,574,433	188,362,412	27,479,999	8,655,299	894,617,499	461,550,277	119,650,000	195,710,636	45,133,150	368,512,706	2,491,481,912
令和元年度	223	96.9	55,800,000	18,181,487	116,535,258	169,778,935	21,984,000	9,161,499	866,829,523	441,009,585	73,545,000	164,511,947	48,373,997	352,495,762	2,338,206,993
前年度比	△ 10	0.1	△ 3,237,627	△ 16,387	11,960,825	△ 18,583,477	△ 5,495,999	506,200	△ 27,787,976	△ 20,540,692	△ 46,105,000	△ 31,198,689	3,240,847	△ 16,016,944	△ 153,274,919

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	公共土木施設災害復旧事業			継続	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略																																																																				
					総合戦略 政策パッケージ																																																																						
H29決算	H30決算	R1当初予算 ※前年度繰越含む	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算																																																																	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	※次年度への繰越含む																																																																	
120,530 千円	750,030 千円	868,755 千円	868,754,910	714,562,840	446,309,941		264,100,000		4,152,899	103,730 千円																																																																	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																																																							
背景・経緯	■公共土木施設の被災原因 ○平成29年9月16日～18日の台風18号による豪雨 ○平成29年10月21日～23日の台風21号による豪雨 ○平成30年7月5日～8日の梅雨前線豪雨 ○平成30年9月29日～10月1日の台風24号による豪雨 ○令和元年10月12日～10月13日の台風19号による豪雨			事業実績	■公共土木施設災害復旧事業 714,562,840円 (単位:円) 【河川・道路等】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 災</th> <th>工 種 別</th> <th>復旧箇所</th> <th>事 業 費</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">H29 災害</td> <td>河 川</td> <td>4河川33箇所</td> <td>93,024,160</td> <td>事故繰越</td> </tr> <tr> <td>道 路</td> <td>2路線2箇所</td> <td>11,237,000</td> <td>事故繰越</td> </tr> <tr> <td>工事費計</td> <td></td> <td>104,261,160</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">H30 災害</td> <td>河 川</td> <td>13河川61箇所</td> <td>279,234,320</td> <td>前金支出含む</td> </tr> <tr> <td>道 路</td> <td>11路線25箇所</td> <td>208,048,920</td> <td>前金支出含む</td> </tr> <tr> <td>単独災害</td> <td>73箇所</td> <td>69,505,720</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費計</td> <td></td> <td>556,788,960</td> <td></td> </tr> <tr> <td>委託業務</td> <td>1業務</td> <td>770,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>委託費計</td> <td></td> <td>770,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">R1 災害</td> <td>単独災害</td> <td>12箇所</td> <td>8,663,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事費計</td> <td></td> <td>8,663,500</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">合計(H29工事費計+H30+R1工事費計)</td> <td></td> <td></td> <td>670,483,620</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>[参考] ○令和2年度への繰越額 103,730 千円 竹の本川河川災害復旧工事 38,527 千円 大手川河川災害復旧工事 28,272 千円 一本松川河川災害復旧工事 17,549 千円 養老村役場朝妻村役場線道路災害復旧工事 19,382 千円</p>							年 災	工 種 別	復旧箇所	事 業 費	備 考	H29 災害	河 川	4河川33箇所	93,024,160	事故繰越	道 路	2路線2箇所	11,237,000	事故繰越	工事費計		104,261,160		H30 災害	河 川	13河川61箇所	279,234,320	前金支出含む	道 路	11路線25箇所	208,048,920	前金支出含む	単独災害	73箇所	69,505,720		工事費計		556,788,960		委託業務	1業務	770,000			委託費計		770,000		R1 災害	単独災害	12箇所	8,663,500		工事費計		8,663,500		合計(H29工事費計+H30+R1工事費計)							670,483,620			
	年 災	工 種 別	復旧箇所		事 業 費	備 考																																																																					
H29 災害	河 川	4河川33箇所	93,024,160	事故繰越																																																																							
	道 路	2路線2箇所	11,237,000	事故繰越																																																																							
	工事費計		104,261,160																																																																								
H30 災害	河 川	13河川61箇所	279,234,320	前金支出含む																																																																							
	道 路	11路線25箇所	208,048,920	前金支出含む																																																																							
	単独災害	73箇所	69,505,720																																																																								
	工事費計		556,788,960																																																																								
	委託業務	1業務	770,000																																																																								
	委託費計		770,000																																																																								
R1 災害	単独災害	12箇所	8,663,500																																																																								
	工事費計		8,663,500																																																																								
合計(H29工事費計+H30+R1工事費計)							670,483,620																																																																				
目的・目標	・集中豪雨等により被災を受けた公共土木施設(河川、道路、公園等)の早期復旧に努め、施設の機能回復を図るとともに、地域の安全と生活基盤の安定を図る。			成果	・集中豪雨等により被災を受けた公共土木施設(河川、道路、公園等)の災害復旧工事を実施し、地域の安全と生活基盤の安定を図ることができた。																																																																						
期待される効果	・地域の安全と生活基盤の安定				・令和2年度の早期復旧 度重なる災害で施工業者が不足し、入札不調等により、復旧工事に遅れが生じた。																																																																						
市民参加の状況				課題 検証																																																																							
	担当部・課・係				建設部	土木管理課	土木係	都市計画課	都市計画係	TEL	0772-45-1629 45-1630	1																																																															

事業名	自治会活動支援事業			充実	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—		
					総合戦略 政策パッケージ	—				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
千円	千円	千円	千円		千円	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
	20,571	37,120	37,002,000	36,816,576		2,125,000	18,500,000		16,191,576	17,546
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<p>市自治連合協議会への運営補助、文書配布等の行政協力に係る報償金支給、集会所や有線放送設備、テレビ共同受信施設等に係る自治会集会施設等整備費補助金により、自治会活動を支援。</p> <p>※有線放送施設整備に関しては、令和元年度から防災行政無線への連携接続改修を対象として拡充措置</p>			事業実績	<p>■自治会集会施設等整備費補助金による支援 22,780,000円</p> <p><自治会集会施設整備事業> 15,790,000円 新築1施設(国分) 改修8施設(万町、亀ヶ丘、獅子崎、小田金山、小寺、江尻、田原、大島)</p> <p><有線放送施設整備事業> 710,000円 改修4施設(浜野路、大島、長江、立)</p> <p><テレビ共同受信施設整備事業> 6,280,000円 改修2施設(鳥が尾・福田、外垣)</p> <p>■その他の自治会活動等支援 14,036,576円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区自治連協議会報償金 4,600,000円 ・単位自治会報償金 8,883,400円 ・市自治連合協議会補助金等 553,176円 					
目的・目標	<p>コミュニティ活動の基盤である自治会等住民組織の自立した運営の確立、安全で安心な地域活動の拠点となる施設整備を支援し、地域活動の活性化を図るとともに、市と地域住民が一体となった行政の推進を図るため、その活動を支援する。</p>			成果	<p>集会施設の耐震化整備をはじめ、防災行政無線との連携接続化を図る有線放送施設整備など、自治会等組織の基盤整備を支援し、安全で安心なまちづくりを推進した。</p> <p>※有線放送施設整備事業を実施した4施設は、全て防災行政無線との接続を行ったもの</p>					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の活性化 ・行政と住民による連携推進 ・安全で安心なまちづくりに向けた住民活動の推進 									
市民参加の状況				課題・検証	<p>人口減少、少子高齢化に加え自治会加入率の低下により活発な地域活動の維持が困難な状況にある。</p>					
				担当部・課・係	総務部 総務課 行政係	TEL	45-1612	2		

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	地域防犯の推進 (行政事務事業、財産管理事業)			新規	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—		
					総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
千円	千円	千円	千円		千円	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	
		2,189	2,224,000	2,223,447		1,111,600			1,111,847	1,300
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
背景・経緯	<p>地域住民主体の安心安全ステーションや、登下校見守り活動、市民による青色防犯パトロール等、住民主体の防犯活動も展開されており、近年の刑法犯認知件数は減少傾向にあるが、交通アクセスの充実により、人の流入増による窃盗・暴行・傷害事件等の市民生活を脅かす不安要素も潜在的に増している。</p>			事業実績	<p>■防犯カメラ設置推進 1,518,000円 <主要な公道に防犯カメラ機器設置> ○新設3箇所(須津消防署前交差点付近(宮津与謝消防組合消防本部建物設置)) (浜町交差点付近(おさかなキッチンみやづ敷地内に設置)) (宮津天橋立IC下交差点(市営住宅宮村上団地敷地内に設置))</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年11月22日から運用開始 24時間常時録画(約2週間で上書き) <p><宮津市防犯カメラの設置及び運用に関する協定書> ○宮津警察署と宮津市で協定を締結(令和元年11月22日)</p> <p>■公用車ドライブレコーダー設置 705,447円 <公用車ドライブレコーダー設置> ○設置台数 58台(消防車両、施設内作業車等を除く。) うち、令和元年度設置分 44台</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年8月1日から運用開始 前方撮影、エンジン始動中常時録画(約100分で上書き) <p><宮津市ドライブレコーダーによるまちの見守り協定書> ○宮津警察署と宮津市で協定を締結(令和元年11月22日)</p> <p>■まちの見守り活動 ・市内事業所、団体にも「ドライブレコーダー」を活用した見守り活動協力を要請</p>					
目的・目標	<p>地域防犯の推進策として高い効果が期待できる防犯カメラを設置し、犯罪認知件数の一層の減速を目指すもの。また、公用車にドライブレコーダーを設置し、記録される映像情報を地域防犯に役立てるとともに、公用車の安全運転等に寄与する。こうした取組をもとに、警察機関等との連携を行い、全市的な防犯推進の気運醸成につなげる。</p>			成果	<p>交通事故の発生時等、宮津警察署から依頼があった際に映像を提供し、該当車両特定に利用するなど事件・事故等の抑止・解決に寄与している。</p> <p>市内事業所等にも呼びかけ、映像情報を地域防犯に役立てるためのドライブレコーダーによるまちの見守り活動協力事業所等は、34事業所等・登録車両約350台となっており、防犯推進の機運醸成にもつながっている。</p>					
期待される効果	<p>犯罪の抑止力が高まるとともに、防犯の気運醸成とともに、より安全で安心なまちの実現に寄与する。また、市職員の安全運転意識の向上及び交通事故発生時の原因究明に寄与する。</p>			課題・検証	<p>地域防犯を推進し、事件・事故の抑止や解決を図るため主要な公道等効果が高い場所への早期設置が必要がある。</p>					
市民参加の状況	<p>登下校の見守り活動や青色防犯パトロール等地域住民主体の活動が行われている。</p>			担当部・課・係	<p>総務部 総務課 行政係 企画財政部 財政課 管財契約係</p>		TEL	<p>45-1602 45-1611</p>		3

事業名	KTR支援事業			継続	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
H29決算	H30決算	R1当初予算 ※前年度繰越含む	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算 ※前年度繰越含む
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
190,306 千円	187,969 千円	314,960 千円	312,613,000	237,893,362			179,500,000		58,393,362	239,044 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H25～：KTRの運行改善のため、上下分離による鉄道事業再構築について検討。 ・H26.12：北近畿タンゴ鉄道沿線地域公共交通網形成計画策定 ・H27.4：上下分離方式により、ウィラートレインズ(株)が京都丹後鉄道の運行を開始。 ・H27～：リニューアル特急車両「丹後の海」導入(H27～H29) 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■宮福線等電化高速化支援補助金 20,501,900円 H8のKTR宮福線等電化高速化事業に係る整備費償還金を共同支援(H7～H32) ■鉄道軌道安全輸送設備等整備事業補助金 93,806,818円 ○事業内容：電気転載機の更新、木柱のコンクリート柱化、車両の更新など ○負担割合：京都府域分の1/2を関係市町で負担 (宮津市：宮豊線・宮舞線27.59%、宮福線38.537%) ■北近畿タンゴ鉄道支援費基盤管理補助金 86,878,000円(総事業費765,302,000円) ○事業内容：鉄道基盤維持費用を共同支援 ○負担割合：京都府域分(94.47%)の1/2を府内関係市町で負担(宮津市23.919%) ■交通施設バリアフリー化支援補助金 9,095,598円(10年間の債務負担(H24～H33)) KTR宮津駅・天橋立駅のバリアフリー化に係る整備費償還金を支援 ■北近畿タンゴ鉄道災害復旧事業費補助金 27,611,046円【繰越明許分】 (総事業費594,228,559円) 平成30年7月豪雨災害並びに平成30年台風24号災害により被災した鉄道施設・設備について、応急復旧工事及び本復旧工事を実施した。 					
目的・目標	北近畿タンゴ鉄道(株)が行う鉄道施設及び車両の整備・更新等に係る費用を沿線自治体で支援し、安心・安全・快適性の確保及び持続可能な地域交通網の維持を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・快適な運行のための路線網を維持することができた。 ・令和元年度の利用者数 1,579,119人 イベント列車の運行などにより、利用促進に努めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、利用者が減少した。 					
期待される効果	地域鉄道の安定確保				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■京都丹後鉄道利用者数 R1目標：200万人 ⇒ R1実績：157万人 (R2目標：200万人)					
市民参加の状況				課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全・快適な運行のため鉄道基盤の強靱化が必要 ・特急利用者の増加を図ることが必要 					
				担当部・課・係	企画財政部 企画課 企画政策係	TEL	45-1664	5		

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	地方バス路線運行維持対策事業			継続	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
39,358 千円	35,661 千円	44,965 千円	45,029,000	45,028,265		1,184,000		30,948,000	12,896,265	46,658 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H25.10: 宮津与謝エリア上限200円バス社会実験開始 ・H27.4: 上宮津小統合により上宮津線の系統追加 ・H27.10: 宮津与謝エリア上限200円バス社会実験を2年間延長 ・H29.4: 日置世屋線の木子への延伸、島陰新宮線の由良及び宮津市街地への延伸、養老・日置中の橋立中への統合により専用スクールバス運行 ・H29.10: 宮津与謝エリア上限200円バス本運行に移行 ・H30.4: 日ヶ谷線の藪田への延伸 ・H30.10: 丹後海陸交通(株)から、運転手不足のため枝線6路線からの運行撤退の申し入れ。以後、路線再編に向けて協議開始。 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■幹線路線への支援(伊根線・蒲入線・経ヶ岬線・福知山線・与謝線) 32,236,540円 乗車人員 342,913人 運行経費 209,697,021円 ■枝線路線への支援(日ヶ谷線、養老線、田井線、上宮津線、島陰新宮由良線、日置世屋線) 12,773,000円 乗車人員 22,155人 運行経費 13,221,000円 ■バス回転場用地賃貸借料(田井地区) 18,725円 					
目的・目標	交通弱者を中心とした地域住民の移動手段及び鉄道路線からの二次交通手段を確保するため、路線バスの運行経費に対し支援し、利便性向上等を進め適切な公共交通の維持を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・バス利用による二次交通を確保できた。 ・社会実験として導入した上限200円バスの目標利用者数を、導入前の2.0倍とする中で、令和元年度(H30.10~R1.9)は導入前の平成24年度(H23.10~H24.9)対比で約2倍となり目標値を達成し、前年度比1.6%増となった。 					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・買物通院等移動の確保 ・利用者拡大による健全な公共交通の維持 				<p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <ul style="list-style-type: none"> ■200円バス利用者数 R1目標:33万人 ⇒ R1実績:34万人 (R2目標:35万人) ■公共交通空白地 R1目標:0集落 ⇒ R1実績:4集落 (R2目標:0集落) 					
市民参加の状況	地域公共交通会議において、ダイヤ、運賃、路線等について協議 H30.11: 枝線路線の再編について報告 H30.12: 枝線路線の再編案の提示 H31.2: 枝線路線の再編案の承認			課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津与謝エリア上限200円バスは、インバウンド需要により目標を達成。 ・地域の需要を喚起する利用促進施策を行う必要がある。 ・公共交通空白地有償運送等、地域のニーズに合った公共交通体系の確立が必要。 					
	担当部・課・係				企画財政部 企画課 企画政策係	TEL	45-1664	6		

事業名	公共交通空白地有償運送支援事業			新規	ビジョン 基本施策	暮らしの基盤の整備	ビジョン 重点戦略	—		
					総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	— 千円	770,000	740,188					740,188	7,706 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H30.10：丹後海陸交通(株)から、運転手不足により枝線6路線からの運行撤退の申入れ ・R1.4：スクールバス一般混乗型運行路線、枝線6路線の再編を行い運行 ・R1.7：R2以降の移動手段確保に向け、住民主体の公共交通空白地有償運送の協議 			事業実績	<p>■公共交通空白地有償運送の実施に向けた協議会への支援 705,000円 運行開始までに運行主体(協議会)が行う、ドライバー研修の受講やアルコールチェッカー等の備品購入の準備経費に対して支援を行った。 ○上宮津有償運送運営協議会(上宮津地区) 487,000円 ○橋北移送サービス運営協議会(養老・日ヶ谷地区) 218,000円</p> <p>■貸与車両の導入 35,188円 公共交通空白地有償運送事業の車両を導入し、運行主体(協議会)へ貸与した。 ○上宮津有償運送運営協議会 日産セレナ(8人乗り) 35,188円 ※5年リース(R2.3.13~R7.3.12) 3,445,200円</p> <p>【参考】 ・橋北移送サービス運営協議会の貸与車両は令和2年度に導入</p>					
目的・目標	丹後海陸交通(株)が運行する路線バス(枝線)に代わる地域の移動手段確保のため、地域が運行主体となった公共交通空白地有償運送事業に支援をし、住民の利便性の向上を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域主体の運行体制が確立されることにより、住民の移動ニーズに即した輸送サービスが確保された。 					
期待される効果	地域の総意工夫による、効率的な地域住民の移動手段が確保される。									
市民参加の状況	公共交通空白地有償運送の実施に向けて、各々で自治連合会を中心とした検討会議等が開催され、利用ニーズの把握、運行体制の構築等が行われている。			課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・運行主体となる協議会の持続可能な運行体制を構築していくことが必要 					
				担当部・課・係	企画財政部 企画課 企画政策係	TEL	45-1664	7		

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	火葬場のあり方検討 (火葬場管理運営事業)			新規	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—		
					総合戦略 政策パッケージ	—				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
千円	千円	千円	千円		千円	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
—	—	645	645,000	584,887		199,000			385,887	0
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・S34 現火葬場建設 ・S56 休憩棟建設 ・H16 地元自治会と早期移転に係る覚書締結 ・H18 再燃焼炉設置 ・H25 屋根葺き替え等改修 ・H26～30 維持補修工事(炉補修、耐火材補修、バーナー取替等) 			事業実績	<p>■宮津市火葬場あり方検討委員会の開催 185,287円 市民や学識経験者等で構成する検討委員会を設置。検討委員会において、宮津市火葬場にかかる現状及び将来の見通し、施設の課題等の調査・分析に基づき、今後の火葬場のあるべき方向性について市長への提言を行った。 委員構成：8名(市民代表、女性代表、事業者代表、学識経験者など) 委員会の開催：3回</p> <p>■基礎データの収集 399,600円 ○業務内容：人口動態、火葬場の施設内容及び機能状況等の調査、課題等の分析 火葬場の利用状況及び今後の見通しの分析・整理 火葬利用状況と今後の見通しに基づく新たな火葬場の火葬炉数、施設規模(設備等の構造、形式)の整理、概算経費の試算 ○業務期間：令和元年6月5日～令和元年7月31日</p>					
目的・目標	老朽化が著しい火葬場の今後のあり方について、検討を行うもの。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市火葬場あり方検討委員会からの提言を踏まえ、市の方針を決定した。 ・近隣市町への火葬場の共同利用に向けた協議を開始した。 					
期待される効果										
市民参加の状況				課題・検証	現有施設の状況から早期に対応していく必要がある。					
				担当部・課・係	市民部 市民課 環境衛生係	TEL	45-1617	8		

事業名	宮津与謝環境組合分担金			ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—																																																																																	
				総合戦略 政策パッケージ		—																																																																																		
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算																																																																														
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																																																																															
364,418 千円	388,213 千円	1,634,108 千円	1,649,136,000	1,610,559,000			1,569,200,000		41,359,000	529,942 千円																																																																														
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																																																																				
背 景 経 緯	<p>現清掃工場(H4竣工)の老朽化。地元設置期限が終了(H19.3月)し、毎年延長同意を得て運転</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H25 1市2町で宮津与謝環境組合を設立。整備候補地の生活環境影響調査等実施。 ・H27 地元の建設同意・敷地造成工事着手 ・H28.4 DBO事業者と契約締結 ・H28.11 敷地造成工事完了 ・H29.1 施設建設工事着手 ・H31.2 地元との運転協定等締結 			事業実績	<p>■宮津与謝環境組合分担金 1,610,559,000円 (本市負担割合43.4883%)</p> <p>○宮津与謝環境組合の令和元年度事業費(A)に対する本市負担金</p> <p>事業費実績とR2年度以降の見込み (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28年度</th> <th>H29年度</th> <th>H30年度</th> <th>R1年度</th> <th>R2年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>施設建設工事 (設計施工監理含む)</td> <td>36,311</td> <td>1,283,049</td> <td>1,260,543</td> <td>6,185,509</td> <td>1,109,988</td> <td>9,875,400</td> </tr> <tr> <td>表層地盤改良工事</td> <td>3,000</td> <td>32,625</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>35,625</td> </tr> <tr> <td>土砂流入・防災対策工事</td> <td></td> <td></td> <td>3,848</td> <td>59,611</td> <td></td> <td>63,459</td> </tr> <tr> <td>施設運営委託費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>491,694</td> <td>491,694</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>229,219</td> <td>4,104</td> <td>2,675</td> <td>1,255</td> <td></td> <td>237,253</td> </tr> <tr> <td>組合事務局運営費</td> <td>39,270</td> <td>31,017</td> <td>44,786</td> <td>45,373</td> <td>48,533</td> <td>208,979</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>307,800</td> <td>1,350,795</td> <td>1,311,852</td> <td>6,291,748</td> <td>1,650,215</td> <td>10,912,410</td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="2">国交付金等</td> <td colspan="2">2,588,317</td> <td colspan="3"></td> </tr> <tr> <td colspan="4"></td> <td colspan="2">差引(A)</td> <td colspan="2">3,703,431</td> <td colspan="3"></td> </tr> </tbody> </table> <p>分担金負担割合 宮津市 43.4883% (人口割) 伊根町 4.9800% 与謝野町 51.5317%</p>							H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	施設建設工事 (設計施工監理含む)	36,311	1,283,049	1,260,543	6,185,509	1,109,988	9,875,400	表層地盤改良工事	3,000	32,625				35,625	土砂流入・防災対策工事			3,848	59,611		63,459	施設運営委託費					491,694	491,694	その他	229,219	4,104	2,675	1,255		237,253	組合事務局運営費	39,270	31,017	44,786	45,373	48,533	208,979	合 計	307,800	1,350,795	1,311,852	6,291,748	1,650,215	10,912,410					国交付金等		2,588,317									差引(A)		3,703,431				
						H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計																																																																													
施設建設工事 (設計施工監理含む)	36,311	1,283,049	1,260,543	6,185,509	1,109,988	9,875,400																																																																																		
表層地盤改良工事	3,000	32,625				35,625																																																																																		
土砂流入・防災対策工事			3,848	59,611		63,459																																																																																		
施設運営委託費					491,694	491,694																																																																																		
その他	229,219	4,104	2,675	1,255		237,253																																																																																		
組合事務局運営費	39,270	31,017	44,786	45,373	48,533	208,979																																																																																		
合 計	307,800	1,350,795	1,311,852	6,291,748	1,650,215	10,912,410																																																																																		
				国交付金等		2,588,317																																																																																		
				差引(A)		3,703,431																																																																																		
目 的 目 標	宮津市、伊根町及び与謝野町で組織する宮津与謝環境組合において、新たな広域ごみ処理施設を整備することにより、一般廃棄物の安定処理を図るとともに、本市の循環型社会の形成に寄与するため。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月から宮津与謝クリーンセンターの実質稼働を開始。(試運転) ・令和2年6月末に施設竣工。令和2年7月から本格稼働を開始。 <p>※令和元年度末工事進捗率：95.4% (建物97%、プラント93.8%)</p>																																																																																			
期 待 さ れ る 効 果																																																																																								
市民参加 の状況				課 題 検 証																																																																																				
				担当部・課・係	市民部 市民課 環境衛生係	TEL	45-1617	9																																																																																

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	新し尿処理施設整備準備事業			新規	ビジョン 基本施策	環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	—			
					総合戦略 政策パッケージ	—					
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
5,655 千円	- 千円	11,814 千円	13,435,000	10,697,700			9,000,000		1,697,700	17,862 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・S39 : 現し尿処理施設運用開始 ・H26.10～: 宮津与謝し尿処理のあり方研究会(宮津市・与謝野町・伊根町)において、し尿処理の効率的な整備方途の検討を開始。 ・H27.6～: 新し尿処理施設整備計画の策定に向け、し尿等の成分分析を開始。(2年間) ・H27.7 : 宮津与謝地域のし尿等の処理は、し尿等の下水道希釈投入が最も効率的な整備手法であることを確認。 ・H27.9 : 宮津与謝し尿等処理検討会議を開催(9月、10月) ・H28.3～: し尿等下水道希釈投入施設の整備について、京都府と市町分散方式を協議。 ・H29.4～: 新し尿処理施設の整備計画の策定 ・H30.10 : 新し尿処理施設の整備候補地について、地域へ説明を行い、調査同意のお願いを行う。 ・H31.1 : 整備候補地について、地域から調査同意(地質調査)を得る。 ・R元.7 : 地質調査の結果及び新し尿処理施設の建設について、報告・説明を行い、建設同意のお願いを行う。 ・R元.12 : 地域から施設の建設同意を得る。 ・R2.2 : 日本下水道事業団と基本設計に係る発注・入札などの契約業務及び業務管理のための協定を締結 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■整備候補地の現地調査 9,076,700円 新し尿処理施設(下水道希釈投入施設)に係る整備候補地(宮津湾浄化センター内用地)について、地域の調査同意が得られたことから、地質調査を実施 ■基本設計業務委託 1,621,000円 新し尿処理施設(下水道希釈投入施設)の整備について、地域の建設同意が得られたことから、(地方共同法人)日本下水道事業団と基本設計の委託に関する協定を締結 ・基本設計業務委託に係る積算及び入札準備事務等の管理諸費 						
目的・目標	し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定を図るため、し尿等下水道希釈投入施設の早期整備を図る。			成果	・地質調査の結果、十分に施設建設が可能な土地であることを確認した。						
期待される効果	し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定確保										
市民参加の状況				課題・検証							
				担当部・課・係	建設部 上下水道課 施設整備係 市民部 市民課 環境衛生係	TEL	45-1634 45-1617	11			

(単位:円)

事業名	病児・病後児保育施設運営事業			新規	ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
— 千円	— 千円	1,790 千円	1,790,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	2,616 千円
— 千円				1,688,720					1,688,720	2,616 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<p>・病児・病後児保育事業は、保護者からのニーズも強く早期の実施が望まれている中で、平成27年度から1市2町(宮津市・伊根町・与謝野町)による広域実施に向けて検討を進めてきた。</p> <p>・平成30年度は、京都府立医科大学附属北部医療センターも交えて協議を重ねるなかで、1市2町を実施主体とする旨合意が図られたことから、令和元年秋の開設を目指し、施設整備・運営経費に係る分担金を計上したものの。</p>			事業実績	<p>■病児・病後児保育施設運営事業 1,688,720円 宮津与謝病児保育所「りりふる」の施設整備・運営経費に係る1市2町分担金</p> <p>【1市2町病児・病後児保育事業概要】 開設日 令和元年10月27日 実施場所 京都府立医科大学附属北部医療センター隣接地 代表市町 与謝野町 利用対象 1市2町在住の生後6ヶ月～小学6年生までの病児 総事業費 9,435,219円(施設整備費等6,204,844円、運営費3,230,375円) 財源内訳 国府支出金5,412,000円、1市2町分担金3,975,861円 1市2町負担割合 均等割10%+人口割90% (宮津市1,688,720円、伊根町310,727円、与謝野町1,976,414円)</p>					
	目的・目標	<p>病気などにより集団保育が困難で、保護者が就労等により家庭で保育できない子どもの一時預かりを1市2町(宮津市・伊根町・与謝野町)で広域実施する。</p>			成果	<p>多くの保護者から早期の実施を望まれてきた病児・病後児保育事業について、京都府立医科大学附属北部医療センターの協力のもと、府内では初となる広域連携により宮津与謝病児保育所「りりふる」を開設をすることができ、働きながら子育てしやすい環境の充実が図られた。</p>				
期待される効果	<p>保育を必要とする病児の預かり事業を実施することにより、働きながら子育てしやすい環境づくりが推進される。</p>			課題・検証		<p>令和元年度は10月末からの約5ヶ月間の開設となり、利用が低調であった。今後は保育所・学校等を通じた広報周知に努めていく。</p>				
市民参加の状況					担当部・課・係	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係		TEL	45-1621	

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	医療的ケア児保育支援モデル事業(認定こども園運営事業)			新規	ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
— 千円	— 千円	3,754 千円	3,681,000	1,267,000		950,000			317,000	3,534 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 全国的に医療的ケアを必要とする子どもが増加しており、受け皿となる保育所等の体制整備が求められている。 本市においても医療的ケアが必要な児童の保育所入所希望があるなか、医療的ケア児受入の対応を進める吉津子ども園分園(マ・ルート内)の体制整備を支援するもの。 			事業実績	<p>■医療的ケア児保育支援モデル事業 1,267,000円</p> <p>医療的ケアを必要とする子どもの保育受入体制の整備に対する支援</p> <p>対象施設 吉津子ども園分園(マ・ルート内) (運営:社会福祉法人みねやま福祉会)</p> <p>実施内容 医療的ケア児の受入に係る看護師及び保育士の人件費、研修受講費、介助用ベッド等の備品購入費等を支援 (補助率10/10(財源:府費3/4))</p>					
目的・目標	保育所等において医療的ケアを必要とする子どもの受入を可能とするための体制を整備し、医療的ケア児の地域生活の向上を図る。			成果	医療的ケア児の受入に必要な看護師等の人件費や、医療器具等の購入を支援することにより、民間こども園の体制整備が図られ、京都府北部地域において初めてとなる医療的ケア児の保育受入が可能となり、子育て支援の充実が図られた。					
期待される効果	医療的ケアを必要とする子どもの保育受入が可能となり、働きながら子育てしやすい環境づくりが推進される。									
市民参加の状況				課題・検証						
				担当部・課・係	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	TEL	45-1621	14		

事業名	小中一貫教育推進事業 ～ 質の高い学力の充実・向上 と 地域とともにある学校づくりに向けて ～			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略			
					総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる				
H29決算	H30決算	R元当初予算	R元最終予算額	R元決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
9,693 千円	13,407 千円	11,869 千円	11,983,000 円	11,261,242 円		647,000		8,000,000	2,614,242	11,289 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H28. 3:宮津市教育振興計画策定 ・H28. 7:宮津市小中一貫教育研究推進協議会設置 ・H29. 1:宮津市小中一貫教育基本方針策定 ・H29. 12:宮津市小中一貫教育推進基本計画策定 ・H30. 2:宮津市学力向上プラン策定 			事業実績	<p>令和2年度からの全面実施に向け、乗り入れ授業等の教科カリキュラムでの指導等を実践し、学力サポートコーディネーターによる算数・数学の学力向上を図るとともに、非認知能力と認知能力を一体的に育むための保幼小接続に係る取組などを進めた。</p> <p>■小中一貫教育推進事業 11,261,242円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「学力サポートコーディネーター(指導主事)」による算数・数学の指導力向上 市内6小学校への訪問指導(児童の指導補助、教員の授業改善に係る指導など) ○「未来を拓く学校づくり」推進事業の展開 ※京都府教育委員会からの研究委託 宮津学院で、就学前施設での読み聞かせ活動の実施、指導力向上研修の開催 ○宮津市教育フォーラムの開催(小中一貫教育の取組状況等の市民への周知) 日時:令和2年1月25日(土)午後1時30分～4時15分 場所:みやづ歴史の館 文化ホール 参加者:約170人 内容:実践報告「宮津市の英語教育について」「小中一貫教育の取組について」 パネルディスカッション「ふるさとみやづ学」と「地域とともにある学校」について ○小中一貫教育専門職員の配置(1名) 					
	目的・目標	宮津市教育振興計画における基本方針「明日の宮津を創る子どもの育成」に位置付ける“質の高い学力の充実・向上”“心身ともに健やかな子どもの育成”を推進するとともに、「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」を目指す。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育の令和2年度からの全面実施に向けて、栗田学院では本格実施を、宮津学院では試行実施を、4つの小学校では連携学習の充実を図れた。 ・小学校への中学校教員の乗り入れ授業や、学力サポートコーディネーターの訪問指導を通して、教員の授業力向上等を図ることができた。 (学力向上プランに基づき、教育振興事業において、漢字能力検定を活用した語彙力向上や英語検定を活用した表現力向上を図ることができた。) (・令和2年度からのコミュニティ・スクール本格導入に向け、教育委員会事務局経費において、コミュニティ・スクール推進コーディネーター(指導主事)を中心に、その準備を進めることができた。) 				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・系統性を重視した教育課程編成による学力向上 ・「小1プロブレム」「中1ギャップ」等の解消 ・質の高い学力の充実・向上(基礎・基本の徹底、言語活動を通じた表現力の育成、学習意欲の向上) ・地域連携による社会に開かれた教育課程の実現 			課題・検証		<p>小中一貫教育の推進(学力向上プランに基づく取組)と併せ、コミュニティ・スクールを導入していくことで、「質の高い学力の充実・向上」と「地域とともにある学校づくり」を一体的に進めていく必要がある。</p>				
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・宮津市小中一貫教育研究推進協議会委員に保護者の参画 ・宮津市教育フォーラムへの学校関係者・市民・保護者の参加(平成31年2月2日開催:約200名参加) 				担当部・課・係	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係	TEL	45-1641	15	

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	スクールバス購入事業 スクールバス運行事業			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略				
				総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる						
H29決算	H30決算	R元当初予算 ※前年度繰越含む	R元最終予算額	R元決算額	財 源 内 訳					R2予算	
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
66,272 千円	82,975 千円	56,498 千円	61,265,000 円	59,275,735 円		7,778,000	6,300,000	8,000,000	37,197,735	55,672 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容							
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> スクールバス一般混乗型の運行 H15.4~H31.3: 波見線、日ヶ谷線(2路線) H21.1~H31.3: 田井線、島陰新宮線(2路線) H26.4~H31.3: 日置世屋線(1路線) H27.4~: 上宮津線(1路線) 専用スクールバスの運行 H25.4~: 由良地区1台(由良小統合により) H29.4~: 日置・養老・日ヶ谷地区2台(養老中統合により) ※スクールバス一般混乗型(枝線6路線)の運行を委託していた丹後海陸交通(株)より、現形態での運行が厳しく、3路線に再編した上で運行するが、スクールバスの運行は難しい旨の申し出があり、専用スクールバス車両を購入へ。 H31.4~: 上宮津地区1台、宮津地区・栗田地区(田井方面)1台、栗田地区(島陰新宮方面)1台、世屋地区1台、養老地区(波見方面)1台、養老・日ヶ谷地区(日ヶ谷方面)1台 			事業実績	<p>スクールバス一般混乗型の継続運行が困難になる中、専用スクールバスを運行するため、新たに専用スクールバス車両を購入した。</p> <p>また、専用スクールバス9台を運行したほか、スクールバス一般混乗型で1路線を運行した。</p> <p>■専用スクールバス車両(25人乗り車両、1台)の購入 6,367,000円 ※平成30年度に6台予算化したうちの繰越事業分</p> <p>■専用スクールバス(9台)の運行 52,121,949円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宮津小学校・宮津中学校【上宮津地区】 5,628,944円<新規> ○宮津小学校【宮津地区】 栗田小学校・栗田中学校【栗田地区】(田井方面) 9,023,539円<新規> ○栗田小学校・栗田中学校【栗田地区】(島陰新宮方面) 4,124,744円<新規> ○栗田小学校(栗田幼稚園)【由良地区】 4,334,032円 ○日置小学校【世屋地区】 4,218,244円<新規> ○養老小学校【養老地区】(波見方面) 4,124,744円<新規> ○養老小学校【養老・日ヶ谷地区】(日ヶ谷方面) 4,124,744円<新規> ○橋立中学校【日置・養老・日ヶ谷地区】 16,542,958円 <p>※<新規>は令和元年度から新たに専用スクールバス運行を開始したもの。</p> <p>■スクールバス一般混乗型(1路線)の運行 786,786円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1路線(上宮津線)をスクールバス一般混乗型として運行(丹後海陸交通(株)に委託) 						
	目 的 ・ 目 標	遠距離通学する児童・生徒の通学手段の確保を図るため、専用スクールバス等を運行する。			成 果	スクールバス一般混乗型の6路線の継続運行が困難になる中、専用スクールバス運行に係る体制を整え、児童・生徒の通学手段を確保した。					
期 待 さ れ る 効 果	<ul style="list-style-type: none"> 児童・生徒の通学手段確保 専用車両化による通学環境向上 			課 題 ・ 検 証		専用スクールバスの台数が多い中での安全・安心で確実な運行。					
市民参加 の状況					担当部・課・係	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係	TEL	45-1641	16		

事業名	学校教育環境の整備・充実～計画的な学校施設の整備と学校ICT環境の充実～ (小学校・幼稚園施設整備事業、小学校・中学校・幼稚園管理・教育振興事業)			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略							
					総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる								
H29決算	H30決算 ※前年度繰越し含む	R元当初予算 ※前年度繰越し含む	R元最終予算額	R元決算額	財 源 内 訳					R2予算				
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源					
960,404 千円	372,473 千円	267,172 千円	266,659,598 円	247,047,155 円	28,654,000	5,427,000	206,800,000		6,166,155	0 千円				
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容										
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27. 3: 宮津市子ども・子育て支援事業計画策定 ・H28. 3: 宮津市教育振興計画策定 ・H29. 8: 学校施設整備年次計画策定 ・H31. 2: ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金 (H30国一般会計第1次補正予算分)の交付決定 ・H32. 1: Window 7のサポート終了に伴い、校務用パソコン(約180台)の更新が必要 			事業実績	<p>学校施設整備年次計画に基づき、普通教室へのエアコン設置等を進めるとともに、授業用としても活用できるタブレット型の校務用パソコン等を導入した。</p> <p>■学校教育環境の整備に係る工事請負費 235,744,955円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エアコン設置 ※平成30年度繰越事業分 <table border="0"> <tr> <td>小学校 (栗田小、吉津小、府中小、日置小、養老小)</td> <td>129,238,498円</td> </tr> <tr> <td>幼稚園 (宮津幼、栗田幼)</td> <td>16,245,487円</td> </tr> </table> ○トイレ洋式化 (宮津幼稚園、栗田幼稚園) 45,524,713円 ○その他 (吉津小理科室移転、栗田小外構整備) 44,736,257円 <p>■学校ICT環境の充実 11,302,200円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校務用パソコンの更新にあたり、授業用としても活用できるタブレット型パソコンの導入等を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 108台 6,894,720円 (984,960円/月×7月) ・中学校 51台 3,961,440円 (565,920円/月×7月) ・幼稚園 12台 446,040円 (63,720円/月×7月) ※レンタルリース方式(保守、修繕込み) (5年総額:96,876,000円) 						小学校 (栗田小、吉津小、府中小、日置小、養老小)	129,238,498円	幼稚園 (宮津幼、栗田幼)	16,245,487円
小学校 (栗田小、吉津小、府中小、日置小、養老小)	129,238,498円													
幼稚園 (宮津幼、栗田幼)	16,245,487円													
目的・目標	学校施設整備年次計画(平成29年8月策定)に基づき、エアコン設置(普通教室)100%の早期実現などを図る。 新学習指導要領に沿った情報教育・ICT教育の推進を図るため、授業用としても活用できる校務用パソコンの導入を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室のエアコン設置100%を達成するなど、学校教育環境の整備を進めることができた。 【エアコン整備率(全教室)】 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園:77.3%、小学校:79.6%、中学校:54.8%、全体:73.0% 【トイレ洋式化率】 <ul style="list-style-type: none"> 幼稚園:100%、小学校:53.0%、中学校:22.6%、全体:48.9% ・全ての校務用パソコンを更新し、教職員の業務改善を図るとともに、授業用としても利用できる環境を併せて整えることができた。 									
期待される効果	より良好な教育環境を提供 <ul style="list-style-type: none"> ・普通教室エアコン整備率100% ・ICTを活用した授業の質の向上 校務用PCの機能向上による教職員の業務改善													
市民参加の状況				課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・国の交付金等を確保した上での計画的な学校施設の整備 ・GIGAスクール構想の推進(学校の児童生徒1人1台端末環境・高速通信ネットワーク整備) 									
				担当部・課・係	教育委員会事務局 学校教育課 学校給食・施設係	TEL	45-1662	17-18						

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	のびのび放課後クラブ事業			ビジョン 基本施策	教育の充実と人材育成	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略																									
				総合戦略 政策パッケージ	4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる																											
H29決算	H30決算	R元当初予算	R元最終予算額	R元決算額	財 源 内 訳					R2予算																						
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																							
22,577 千円	97,336 千円	64,881 千円	64,881,000 円	59,116,150 円	14,921,000	14,283,000	17,300,000	5,562,775	7,049,375	36,599 千円																						
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																												
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 宮津のびのび放課後児童クラブ開設(S41.4)、吉津のびのび放課後児童クラブ開設(H15.9)、府中放課後児童クラブ開設(H20.11)、養老わいわいクラブ開設(H21.7)、由良浜っこ児童クラブ開設(H22.4) H30.1: 宮津のびのび放課後児童クラブを宮津小学校新校舎内に移設 H31.3: 栗田のびのび放課後児童クラブ、府中のびのび放課後児童クラブ施設完成 (地域運営の由良浜っこ児童クラブ及び府中放課後クラブは、H31.4より学校敷地内等での市直営実施(法人委託)を開始する中で終了) 			事業実績	■市設置の「のびのび放課後児童クラブ」の運営 33,194,989円 <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>開設場所</th> <th>利用人数</th> <th>開所時間</th> <th>運営方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津</td> <td>宮津小学校 新校舎内1階</td> <td>124名</td> <td rowspan="4">【平日】 下校時～午後7時 【土曜・長期休業日等】 午前7時30分～午後7時 ※平成30年度まで午後6時30分までであったものを、令和元年度から午後7時まで延長</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td>吉津</td> <td>記念吉津文化青年会館</td> <td>15名</td> <td>直営</td> </tr> <tr> <td>栗田【新設】</td> <td>栗田小学校敷地内建物</td> <td>9名</td> <td>法人委託</td> </tr> <tr> <td>府中【新設】</td> <td>府中小学校校舎内1階</td> <td>32名</td> <td>法人委託</td> </tr> </tbody> </table>						名称	開設場所	利用人数	開所時間	運営方法	宮津	宮津小学校 新校舎内1階	124名	【平日】 下校時～午後7時 【土曜・長期休業日等】 午前7時30分～午後7時 ※平成30年度まで午後6時30分までであったものを、令和元年度から午後7時まで延長	直営	吉津	記念吉津文化青年会館	15名	直営	栗田【新設】	栗田小学校敷地内建物	9名	法人委託	府中【新設】	府中小学校校舎内1階	32名	法人委託
	名称	開設場所	利用人数		開所時間	運営方法																										
宮津	宮津小学校 新校舎内1階	124名	【平日】 下校時～午後7時 【土曜・長期休業日等】 午前7時30分～午後7時 ※平成30年度まで午後6時30分までであったものを、令和元年度から午後7時まで延長	直営																												
吉津	記念吉津文化青年会館	15名		直営																												
栗田【新設】	栗田小学校敷地内建物	9名		法人委託																												
府中【新設】	府中小学校校舎内1階	32名		法人委託																												
保護者の多様な雇用形態に対応し、次代を担う人材を育成するため、安全・安心に放課後等を児童が過ごすことができるよう放課後児童クラブの充実を図る。				成果	■地域運営の「放課後児童クラブ」への支援 599,122円 ○養老わいわいクラブ(長期休業日開設)への運営支援																											
学校敷地内等での運営施設数:3箇所(H32) 【教育振興計画】					■のびのび放課後児童クラブ施設の整備 25,322,039円 ○吉津のびのび放課後児童クラブの令和2年度からの小学校校舎内での開設に向け、吉津小学校校舎内1階に施設整備をした。																											
目 的 目 標				課 題 検 証	・保護者の多様な雇用形態に対応できるよう、午後6時30分までであった開設時間を午後7時までに延長し、受入環境の充実が図れた。 ・市設置の「のびのび放課後児童クラブ」について、令和2年度からの吉津小学校校舎内での開設準備が整った。																											
期 待 さ れ る 効 果					よりきめ細やかな受入体制の充実、指導員等の質の向上																											
市民参加 の 状 況	養老地区の地域住民による放課後児童クラブの運営			担当部・課・係		教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係		TEL	45-1641	19																						

(単位:円)

事業名	浜町にぎわいづくり推進事業			ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略			
				総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする					
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
128,902 千円	155,087 千円	58,337 千円	58,309,000	58,292,436	17,463,000	4,389,000	0	2,469,340	33,971,096	33,989 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	H26:浜町立体駐車場の取得(市営化) H27:観光交流センターオープン、道の駅登録 宮津まちづくり会議報告書の提出 H28:地域振興拠点の具体化に向けた宮津商工会議所による 事業パートナーの選定 H29:道の駅内にパイロット事業施設「おさかなキッチンみやづ」オープン 島崎公園の改修・整備に着手(実施設計・工事) R01:宮津まちなか地域振興拠点施設条例の制定			事業実績	■観光交流センター及び立体駐車場の運営 23,366,436円 ・丹後観光の玄関口として、観光交流センターの利用促進を図った。 立体駐車場利用実績 201,902台 観光交流センター案内件数 21,425件 レンタサイクル利用実績 3,041件 ■魅力ある集客ゾーン的具体化の推進 34,926,000円 ①地域振興拠点の実現に向けたパイロット事業 10,968,000円 ・地域振興拠点具体化事業 宮津商工会議所及びその事業パートナー(ハマカゼプロジェクト(株))が パイロット事業施設(おさかなキッチンみやづ)の運営に取り組んだ。 ・宮津まちづくり会議等運営事業 宮津まちづくり会議の開催(1回) <パイロット事業の実績等> ・売上 :H29(8月~)28百万円、H30 44百万円、R01 43百万円 ・レジ通過人数:H29(8月~)31,838人、H30 52,346人、R01 49336人 ・周辺賑わい創出:観光案内所来場者数 :H29 29,482人 ⇒R01 37,418人 宮津まごころ市来場者数:H29 62,548人 ⇒R01 84,408人 立体駐車場利用台数 :H29 186,825台⇒R01 201,902台 ②パイロット事業施設リース料 23,328,000円 ③地域振興拠点マーケティング業務 630,000円 ・道の駅に関するマーケティング業務(来訪者調査、HP・SNSによる情報発信 等)の実施					
	目的・目標	浜町周辺(地域振興拠点)を「魅力ある集客ゾーン」として していく。			成果	・道の駅来訪者が増加しており、浜町地区のにぎわい創出やまちなか観光に寄与した。 ・道の駅来訪者数:H29 123,868人、H30 162,965人、R01 171,162人 [宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光交流人口 R01目標:300万人 ⇒ R01実績:321万人 (R02目標:310万人)				
期待される効果				課題 検証		・パイロット事業終了後、まちなか地域振興拠点施設としての指定管理制度の導入 ・浜町を起点とした更なるまちなかの賑わい創出 ・丹後観光の玄関口にふさわしい景観創出				
市民参加の状況	■島崎公園の再整備の検討 ・H29.7~9 意見交換会 ・H29.9~10 パブリックコメントの実施 ・H30.1 市民報告会				担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1663	20	

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	宮津の自然・歴史・文化を高め、国内及び世界へ発信する取組 (世界遺産登録推進事業、インバウンド推進事業、北前船港町まちづくり事業、丹後ちりめん創業300年事業)			継続	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興 環境保全と生活環境の向上	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造 への転換戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
6,909 千円	8,053 千円	3,932 千円	3,962,000		3,501,175	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	
					186,500	303,000		1,441,513	1,570,162	5,380 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H19. 9: 天橋立の世界遺産暫定リスト登録を文化庁に申請(府・1市2町共同) ・H19. 12: 市民主体の活動組織「天橋立を世界遺産にする会」設立 ・H20. 9: 文化庁、暫定リスト審査結果発表。次点の「1a」評価。 ・H28. 11: 「世界で最も美しい湾クラブ」正式加盟決定(第12回総会・メキシコ) ・H29. 4: 日本遺産「300年を紡ぐ絹が織り成す丹後ちりめん回廊」認定 ・H30. 5: 日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」追加認定 ・H30. 10: フランス「モン・サン＝ミシエル湾」と姉妹湾協定を締結 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■天橋立世界遺産登録の推進 1,416,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・天橋立を世界遺産にする会補助金 1,416,000円 講演会開催(2月23日/行政共催)、普及パンフレット(英語、中国語版)の改訂・増刷(3,500部)、PR用横断幕、手提げ袋の作成など ■世界で最も美しい湾クラブを活用したインバウンドの推進 648,965円 <ul style="list-style-type: none"> ・京都宮津湾・伊根湾クラブ補助金 303,000円 パンフレット及びチラシの増刷、ノベルティ(ピンバッチ)作成 ・世界で最も美しい湾クラブ連携 54,500円 総会(10月富山)への出席、国内加盟湾5湾連携による「湾LOVEキャンペーン」の実施 ・湾クラブ年会費 291,465円 ■北前船文化を活かした観光地域づくり 1,327,210円 <ul style="list-style-type: none"> ・北前船まちづくり委員会補助金 373,000円 北前船等史跡ガイド人育成講習会の実施、紹介パネル等の作成 ・北前船日本遺産推進協議会への負担金 500,000円 ・関西北前船研究交流セミナー及び北前船寄港地フォーラム、羽田空港キャンペーン、協議会会議等への参加 454,210円 ■丹後地域のものづくり文化を活かした魅力発信 109,000円 <ul style="list-style-type: none"> 丹後ちりめん創業300年事業実行委員会への負担金 					
目的・目標	天橋立を地域の宝として世界に発信していくため、世界遺産登録に向けた活動の推進、世界で最も美しい湾クラブを活用したインバウンド観光の推進、北前船文化を活かしたまちづくりの推進、丹後ちりめん創業300年事業の実施などの各種取組を一体的に取り組む。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会等により天橋立の世界遺産登録への関心と理解を深めるとともに、PR活動などが行われた。 ・国内湾連携により観光誘客のための国内外への情報発信の相互連携を図ることができた。 ・日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に認定された北前船文化をより知ってもらうための宮津市街地や由良地区の観光まちづくりに資する取組を進めることができた。 					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・天橋立の保全継承 ・天橋立、宮津湾の国内外への幅広い情報発信 ・北前船関連資源の観光資源化 				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光交流人口 R1目標:300万人 ⇒ R1実績:約321万人 ■外国人観光客宿泊数 R1目標:5.0万人 ⇒ R1実績:約5.4万人					
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・天橋立を世界遺産にする会、北前船まちづくり委員会は、市内の事業者や各団体、自治連、住民など、各層で構成 ・天橋立の一斉清掃、市民による北前船の取組など、種々の取組に主体的に参画、参加 			課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・世界遺産への登録のための取組や日本遺産の構成資産について、市民の認知度向上と観光誘客のための事業展開 					
				担当部・課・係	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係 産業経済部 商工観光課 商工係、観光係	TEL	45-1642 45-1663 45-1625	21・22・23・24		

事業名	里の地域資源活用事業			継続	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略												
					総合戦略政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする														
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算										
38,203 千円	39,550 千円	12,225 千円	19,395,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		2,167 千円									
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																
背景・経緯	H25～26：オリーブ栽培の実証を開始 H27：経営戦略の策定 日伊文化交流協会との連携協定の締結 実証結果を踏まえ栽培の開始 加工品生産基盤整備の支援 H28～H30：オリーブ産業をマネジメント・けん引する「オリーブオイル宮津」準備室の設置			事業実績	■オリーブの生産拡大に対する支援 7,607,000円 事業計画等を有する生産者に対して、苗木等購入等の初期費用を支援。															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金名</th> <th>区 分</th> <th>内容・対象者等</th> <th>補助等金額</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">オリーブ栽培支援事業</td> <td>栽培導入事業</td> <td>苗木及び支柱/2企業・7人</td> <td rowspan="2">6,907,000</td> <td rowspan="2">補助率:1/2</td> </tr> <tr> <td>農地再生事業</td> <td>18箇所/2企業・6人</td> </tr> <tr> <td>耕作放棄地再生・営農条件整備支援事業</td> <td>農地再生事業</td> <td>1箇所/1人</td> <td>700,000</td> <td>〃：7/10(上限あり)</td> </tr> </tbody> </table>				補助金名	区 分	内容・対象者等	補助等金額	備 考	オリーブ栽培支援事業	栽培導入事業	苗木及び支柱/2企業・7人	6,907,000	補助率:1/2	農地再生事業	18箇所/2企業・6人	耕作放棄地再生・営農条件整備支援事業	農地再生事業	1箇所/1人	700,000
補助金名	区 分	内容・対象者等	補助等金額	備 考																
オリーブ栽培支援事業	栽培導入事業	苗木及び支柱/2企業・7人	6,907,000	補助率:1/2																
	農地再生事業	18箇所/2企業・6人																		
耕作放棄地再生・営農条件整備支援事業	農地再生事業	1箇所/1人	700,000	〃：7/10(上限あり)																
目的・目標	オリーブの生産拡大、技術の向上、栽培者の育成等を支援することにより、オリーブの産業化を図るとともに、雇用の創出につなげる。			成果	・地域おこし協力隊員が中心となり、市内のオリーブ栽培者の協力・協働によりブランドの確立を目指す「宮津オリーブ生産者の会」が設立され、植樹や剪定など、生産性の向上へ向けた取組みを実施。 ・地域おこし協力隊として、3年間の任期が終了した隊員1名が、オリーブ栽培及び関連事業者(苗木販売等)として定住された。															
期待される効果	・新たな特産品開発 ・観光消費の拡大や全国展開等による外貨獲得 ・生産者や加工事業者の増加による地域雇用の創出				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■オリーブの植栽数・出荷量 R1目標：2,600本、出荷量2.6t⇒ R1実績：2,024本(累計4,659本)、出荷量0.66t (R2目標：10,000本、出荷量2.6t)															
市民参加の状況	由良地区では由良オリーブを育てる会が、日置・下世屋では日置世屋オリーブを育てる会が組織され、取り組まれている。宮津地区など他地区の農業者へも栽培の取組が広がっている。			課題・検証	・品質の維持・向上、ブランド力を高めるため、生産者の連携をより密にしていくことが重要。															
				担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1626	25												

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	山の地域資源活用事業			ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略			
				総合戦略政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする					
H29決算	H30決算	R01当初予算	R01最終予算額	R01決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
3,395 千円	5,198 千円	2,374 千円	2,374,000	2, 253, 750		1,100,000			1,153,750	2,190 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	H21～H23:「宮津環境産業創出研究会」支援 H22 :竹林再生整備計画(32自治会、173か所、164ha)の策定 H22～H24:「宮津バイオマス・エネルギー事業地域協議会」支援 宮津バイオマスエネルギー造事業所建設(H23.8竣工)、技術実証 H27 :「地域竹林整備隊」編成、「竹の買取制度」創設、連続炭化装置の研究開発への支援 H28 :民間事業者による竹資源管理センターの運営			事業実績	■放置竹林の整備と竹のカスケード利用の促進 2,253,750円 ○放置竹林の整備(獅子崎ほかA=1.5ha) 2,145,000円 ○竹林整備隊強化拡充事業 108,750円 ・貸与機器の修繕(樹木粉碎機ローター稼動ベルト)など					
	目的・目標	放置竹林の整備による森林環境の改善を図るとともに、山の地域資源「竹」を有効に活用する民間事業者の内発型事業を推進する。 併せて関連企業の誘致に取り組み、地域雇用機会の創出と地域経済の活性化を図る。			成果	■森林環境の改善 ・放置竹林の整備(1.5ha獅子崎地区、須津地区)が図られた。 ■竹のカスケード利用によるビジネスモデルの産業化 ・竹資源管理センターを中心に、竹チップ・竹粉等の販売が行われた。 ■地域竹林整備隊の強化拡充 ・個人43人、団体1団体、法人5社が登録(うち新規個人2人) ・伐採・搬出等の技術の向上				
期待される効果		・森林環境の改善(竹林の再生) ・竹に関する情報の収集、加工技術の開発・集積と新たな産業の創出、雇用の拡大				課題・検証	[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■竹の一次加工品出荷量 R01目標:450t ⇒ R01実績:21.7t			
	市民参加の状況	・地権者、関係者の竹伐採への協力(土地の使用及び竹の無償提供) ・地権者、関係者の承諾に対する自治会の全面協力			課題・検証		・伐採搬出コストの削減 ・新たな加工品、技術の研究開発による竹の高付加価値化 ・竹事業に関する民間企業の誘致			
				担当部・課・係		産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1663	27	

(単位:円)

事業名	農水商工観連携推進事業			継続	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
9,041 千円	8,255 千円	2,482 千円	2,484,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
				2,074,917		528,000			1,546,917	— 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H24 : 特産品等振興事業補助金事業を創設 ・H25.2 : 学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結 ・H26.3 : 宮津農水商工観連携会議を発足 ・H28 : 宮津遺産の創設 ※商品開発・改良支援実績 H26 : 15品、H27 : 22品、H28 : 22品、H29 : 30品、H30 (見込) 23品 宮津遺産 9 品目認定			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■宮津農水商工観連携会議への参画 9,760円 <ul style="list-style-type: none"> ・土産物の試作や商品化、宮津遺産の認定、地産地商(消)などの活動の連携実施 ・宮津市地産地消推進店ホームページ更新手数料 9,760円 ■大和学園連携事業 799,997円 <ul style="list-style-type: none"> ・料理メニュー・特産品アドバイザー事業 大和学園の講師を3事業者に述べ5回派遣 ・食のブラッシュアップセミナーの開催 食のおもてなし向上を目的に、飲食店等の品質・接客・清潔感等をテーマにしたセミナー(全4講・4ヶ月間)を開催し、延べ25名が参加 ■特産品等振興事業補助金事業 1,223,160円(うち審査員報償費31,160円) <ul style="list-style-type: none"> ①製品の改良(パッケージデザイン) 2件(うち1件は②③とセット) ②生産体制の整備拡充 3件 ③新規販路開拓 2件 計7件(5事業者) ■農商ビジネス商談会 42,000円 <ul style="list-style-type: none"> ・北部7市町合同実施のビジネス商談会(舞鶴市1回)の開催経費の一部負担金 					
	目的・目標	農林水産業と商工業、観光業との連携を深め、6次産業化、地産地商(消)等を推進し、地域経済力を高めるための自立循環型経済社会構造への転換を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・大和学園連携事業として新たに「食のブラッシュアップセミナー」と題して、飲食店そのものの質の向上を図るセミナーを開催した。参加者からは各テーマの重要性を再認識するなど、高い評価を得た。 ・アドバイザー事業や補助金支援により、6品の料理メニュー、2品の特産品等が開発・改良されるとともに、生産体制の拡充や販売促進が図られた。 [宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■観光消費額 R1目標 : 150億円 ⇒ R1実績 : 109億円				
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなお土産物開発による観光消費額の拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 			課題・検証		・商品づくりの人材の確保と将来性や市場性の高い特産品等の開発が必要				
市民参加の状況	宮津農水商工観連携会議は、市内の各分野の機関・団体等に参画いただき、協議検討を進めている。				担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1663	31	

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	魅力ある観光地づくり支援事業			継続	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略		
					総合戦略政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
55,687 千円	48,286 千円	47,658 千円	47,559,000	46,513,680	6,648,500	6,022,000		26,612,677	7,230,503	45,465 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27 : 京都縦貫自動車道の全線開通、海の京都博の開催 ・H28. 6 : (一社) 京都府北部地域連携都市圏振興社(以下「海の京都DMO」)の設立 ・H28. 8 : (公社) 天橋立観光協会が海の京都DMOに統合参画(以下「海の京都DMO天橋立地域本部」) ・H29. 11 : 「日本版DMO法人」に登録。福知山観光協会が統合参画し、5市2町での観光推進体制が構築 			事業実績	<p>■海の京都DMOの運営に係る負担金 18,181,000円(事業費:197,856,000円) 海の京都エリアの一体的な情報発信、プロモーション、インバウンド事業、マーケティング調査、「中期経営戦略」策定など ・海外向け商談会13回(商談数346件)、旅行博出展2ヶ国、ガイド養成講座4回/128名参加</p> <p>■海の京都DMO天橋立地域本部に対する支援 25,348,052円 ○宮津市観光振興交付金 12,975,000円(事業費:20,545,052円) 天橋立地域本部の活動強化を通じて誘客拡大による入湯税増加への好循環化を目指し、観光誘客に資する事業に対して支援 ○丹後観光情報センター運営事業 10,823,052円(事業費:10,823,052円) 天橋立駅での観光案内業務及び外国人観光客への案内体制の強化への支援 ○観光情報発信事業 1,350,000円(事業費:2,700,000円) 季節ごとの観光情報、旅行商品を掲載したパンフレット作成やネット広告掲載による情報発信を支援 ○観光地域づくり推進事業(宮津市観光推進会議) 200,000円(事業費:350,000円) 講演会(1回) ・「食で変わる!! 地方創生とインバウンド」 講師:藤本 JOHNNY 孝博</p> <p>■地域おこし協力隊の配置 2,984,628円 天橋立アクティビティセンターに地域おこし協力隊1名を配置</p>					
目的・目標	日本の顔となる観光地を目指し、天橋立に代表される観光資源の活用並びに海の京都DMO及び海の京都DMO天橋立地域本部と連携して、観光入込客の増加、観光消費額の拡大を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・海の京都DMOにより、各種調査の分析に基づいた観光プロモーション等が展開された。 ・天橋立地域本部への支援を通じて、国内外観光客への案内業務や広報宣伝を図ることができた。また天橋立アクティビティセンターにおいて、体験型観光商品の造成や販売を行い、滞在時間延長や消費拡大につなげる新たな天橋立の魅力づくりを進めることができた。 <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■観光交流人口 R1目標:300万人 ⇒ R1実績:約321万人 ■外国人観光客宿泊数 R1目標:5.0万人 ⇒ R1実績:約5.4万人 ■観光消費額 R1目標:150億円 ⇒ R1実績:109億円</p>					
期待される効果				課題・検証	<ul style="list-style-type: none"> ・海の京都DMOが実施する観光調査結果を活用した事業展開や観光プロモーションを活用したインバウンド事業の強化 ・観光消費額増加のため、地域で稼ぐ力の創出の仕組みづくり 					
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民、観光、商工関係者と協議・協力しながら、広域観光を推進 ・宮津市観光推進会議への参画 			担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 観光係	TEL	45-1625	32		

(単位:円)

事業名	宮津天橋立周遊観光推進事業			継続	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
10,635 千円	9,278 千円	4,200 千円	4,200,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・ 経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27：海の京都博を開催(7.18～11.15)。天橋立パーク&クルーズ実施、天橋立砂浜ライトアップ実証実験、成相寺紅葉ライトアップ開催 ・H28～30：天橋立パーク&クルーズ、天橋立砂浜ライトアップ、成相寺紅葉ライトアップの継続実施 			事業実績	<p>■海を活用した天橋立周遊の実施 2,000,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> ○宮津天橋立周遊・海上交通社会実験 1,700,000円 天橋立周辺地域への一層の送客、快適な周遊等を目的とした取組を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・パーク&クルーズ(観光船)利用実績 9,269人※H30:8,603人 ○府中地区渋滞対策 300,000円 パーク&クルーズの一環として府中地区渋滞対策協議会が実施する渋滞対策を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・臨時駐車場実績(府中小学校、府中公園) GW(4/28,5/4,5/5)計428台、正月(1/1～3)計2,336台 <p>■夜の賑わい創出 2,200,000円</p> <p>夜の賑わいを創出するため、「海の京都」天橋立地区協議会が実施する「天橋立砂浜ライトアップ」、「成相寺紅葉ライトアップ」への支援に加え、新たに京都府事業「もうひとつの京都 光のアトリエ」と連携した事業を展開。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○天橋立砂浜ライトアップ 7月13日～9月30日、天橋立砂浜や小天橋松並木 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数：46,410人 ・連携事業：天橋立まち灯りぶらり散策(主催：天橋立文珠繁栄会) 和傘燈籠、天橋立運河水中ライトアップ、智恩寺山門前イベント、砂浜Bar等実施。 ○メディアアート・フェスティバル 9月13日～11月4日、元伊勢籠神社 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数：約1,600人 ・内 容：国際的に活躍するメディア・アーティストによる作品展示を実施。 ○成相寺紅葉ライトアップ 11月9日、10日、成相寺・元伊勢籠神社・傘松公園 <ul style="list-style-type: none"> ・来場者数：2,306人 ・内 容：紅葉ライトアップに加えて、天橋立を舞台とした光や音のデジタルアートによる幻想的な世界を演出。 					
目的・ 目標	本市における観光客の滞在時間を延ばし観光消費額を増加させるため、海上交通を活用した周遊ルートの構築及び夜の賑わい創出を推進し、周遊型・滞在型観光への転換を図る。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・「天橋立パーク&クルーズ」について、GWの利用が例年より大幅に増加し、天橋立周辺の渋滞緩和と、新たな観光スタイルの提供を図ることができた。 ・ライトアップ事業については、本年は新たな事業を取り入れ、地域の商店街や観光事業者との連携により、さらなる夜の賑わいの創出が図られた。 					
期待される 効果					<p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■観光交流人口 R1目標：300万人 ⇒ R1実績：約321万人</p> <p>■観光消費額 R1目標：150億円 ⇒ R1実績：109億円</p>					
市民参加 の状況	地域住民、観光、商工関係者と協議、協力しながら賑わいづくりを実施する。			課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・パーク&クルーズは、渋滞緩和対策での利用が多く、天橋立の魅力をさらに増やし利用率を高める必要がある。 ・浜町地区において、乗船前又は下船後の観光客が商業施設等を利用する流れを作るため、施設との一層の連携が必要。 ・「夜の賑わい創出」では、来場者をより満足させられるよう、引き続き商店街の夜間営業の可能性を検証 					
				担当部・課・係	産業経済部 商工観光課 観光係	TEL	45-1625	33		

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	浜町エリアの活性化に向けて (景観まちづくり推進事業)			充実	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	1. しごとをつくり、安心して働けるようにする				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
27,412 千円	6,681 千円	47,271 千円	47,511,000	43,519,940	11,720	0	28,700,000	0	3,099,940	6,720 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・ H9 宮津会館等の市街地の公共施設の状況も考慮した駐車場として、「パーキングはままち」が完成。 ・ H28 宮津まちづくり会議より、道の駅から宮津会館への東西の遊歩道(通路)の整備について、要望を受けた。 ・ H29 関係団体との意見交換会において、各公共施設をつなぐ良好な動線(東西方向の園路)が必要との意見が出された。 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■街なみ環境整備事業 40,019,940円(繰越明許分) ○快適な歩行空間を確保するため、園路延伸工事を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市道島崎公園線街なみ環境整備工事 L=124m 40,019,940円 					
	<ul style="list-style-type: none"> ■景観まちづくり推進事業 3,500,000円 ○宮津市まち景観形成協議会が行う景観まちづくりの取り組みを支援。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮津市まち景観形成協議会活動助成事業 151,000円 ○魅力ある街なみ修景を促進するため、界限景観まちづくり協定に基づく民間建築物の修景を支援した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 街なみ修景助成事業 3件 3,349,000円(文珠1件、大垣1件、溝尻1件) 									
目 的 目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浜町周辺(地域振興拠点)を「魅力ある集客ゾーン」としていく。 			成 果	<ul style="list-style-type: none"> ■各施設をつなぐ快適な歩行空間を確保することができた。 ■宮津市景観条例及び宮津・天橋立景観計画の施行により、天橋立に係る俯瞰・眺望景観の保全に加え、人の目線(アイレベル)からの景観形成について、市民主体による景観まちづくりが実施された。 					
期 待 さ れ る 効 果	【まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI】 観光交流人口 R1:300万人 観光消費額 R1:150億円 外国人観光客宿泊数 R1:5万人				【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI】 観光交流人口 R1目標:300万人 ⇒ R1実績:320.5万人(R2目標310万人)					
市民参加 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ■島崎公園 改修・整備計画策定 H29.7~9 意見交換会 H29.9~10 パブリックコメントの実施 H30.1 市民報告会 			課 題 検 証	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海の京都観光圏の形成に向け、天橋立周辺地域(文珠・府中地区)に続き、市街地においても景観まちづくりを段階的に広げていく。 					
	担当部・課・係				建設部	都市住宅課	都市計画係	TEL	0772-45-1630	35

(単位:円)

事業名	新規就農者育成等営農体制の構築と農地利用の最適化の推進(人・農地プラン策定事業、農地中間管理事業、新規就農者育成支援事業)			継続	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略														
	H29決算	H30決算	R1当初予算		R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳															
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	R2予算												
10,888 千円	10,072 千円	10,462 千円	15,628,000	13,071,738		10,964,738		1,867,000	240,000	12,749 千円												
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																	
背景・経緯	<p>就農者の高齢化や担い手不足、遊休農地の増加などの問題に対応するため、地域の話し合いを通じた合意形成による人・農地プランの策定を推進するとともに、担い手の育成・確保等への取組に対して支援を行っている。</p> <p>H26.6: 農地中間管理機構(農地の貸し手と借り手をつなぐ中間的受け皿となる組織)を通じて、農地の利用権を担い手へ集約する農地中間管理事業の開始</p> <p>H28.4: 農地利用の最適化を進めるため、農地利用最適化推進委員の新設等の新たな農業委員会制度の開始</p> <p>H29.7: 宮津市農業委員会組織体制の変更(農業委員22人 → 農業委員14人、推進委員10人) ※農地利用最適化推進委員: 担当区域における農地等の利用の最適化推進のために、主として現場活動を行う。</p>			事業実績	<p>■人・農地プランの策定 330,000円 ○R1年度策定状況: 6地域(15集落)のプラン策定・更新(策定: 須津東 更新: 日置、波路・波路町・獅子崎、養老波見、金山・小香河・古心、港・浜野路)</p> <p>■農地中間管理事業を活用した農地の集約 7,032,900円 ○機構集積協力金 5,138,000円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>地区</th> <th>貸付割合</th> <th>新規集積単価・面積</th> <th>交付額計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>須津</td> <td>66%</td> <td>28,000円/10a</td> <td>1,723a 4,824,400円</td> </tr> <tr> <td>栗田脇</td> <td>22%</td> <td>16,000円/10a</td> <td>196a 313,600円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○農地集積助成金 27,900円 農事組合法人久理陀ファーム 31a×9,000円/10a</p> <p>○農地中間管理事業に係る受託業務 1,867,000円 窓口業務、農地利用配分計画案の作成などの業務を(一社)京都府農業会議から受託</p> <p>■新規就農等営農体制の構築に向けた取組への支援 5,708,838円</p> <p>○新規就農者の育成支援 5,708,838円 次世代人材投資資金(旧青年就農給付金)の給付 青年農業者(50歳未満)5人 就農研修資金償還助成による支援 1人</p>						地区	貸付割合	新規集積単価・面積	交付額計	須津	66%	28,000円/10a	1,723a 4,824,400円	栗田脇	22%	16,000円/10a	196a 313,600円
地区	貸付割合	新規集積単価・面積	交付額計																			
須津	66%	28,000円/10a	1,723a 4,824,400円																			
栗田脇	22%	16,000円/10a	196a 313,600円																			
目的・目標	「人・農地プラン」の策定を推進し、そのプランに基づき地域の農業を支える担い手等への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進等を進め、持続可能な営農体制の構築や農地の利用促進を図る。			成果	<p>・新規就農者の育成 5人 新規就農者の就農直後の不安定な経営を支援し、農業経営の安定が図られた。</p> <p>・担い手への農地集積 農地中間管理機構を通じて担い手等へ約20.3haの農地が集積された。</p> <p>[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI]</p> <p>■新規就農者、新規就漁者数 R1目標: 6人 → R1実績: 2人 (R2目標: 9人)</p>																	
期待される効果	<p>担い手への農地の集積・集約化 遊休農地の発生防止・解消 新規参入の促進</p> <p>【宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略KPI】 新規就農者、就漁者数 H26:3人→H31:20人 H27:1人、H28:0人、H29:2人、H30:3人</p>			課題・検証	<p>・地域農業の担い手を確保するため、地域農業のあり方について、地域での話し合いを進め、新規就農者に対する地域の受入体制と指導者の確保を更に図っていく必要がある。</p>																	
市民参加の状況	人・農地プラン策定や貸し手と借り手のマッチングのための地域における話し合い			担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1626	39-40														

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	新規就漁者育成支援事業			継続	ビジョン 基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構 造への転換戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	2. みやづを担う次代の人づくり				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
270 千円	2,425 千円	1,495 千円	556,000	495,000					495,000	1,495 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.4: 活力ある漁業・漁村の実現のための、次世代の漁業・漁業経営者の育成を目的に海の民学舎を開設 ・H28.4: 1期生の2名が本市(栗田地区・養老地区)で独立型漁業研修を開始 ・H29 : 1期生のうち養老地区1名が就業、2期生の1名が養老地区で研修を開始 ・H30 : 1期生のうち栗田地区1名が就業 ・R1 : 2期生の養老地区1名が就業 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■海の民学舎運営協議会への負担金 120,000円 新規漁業就業者の育成や若手・中堅漁業者の経営力の向上を図る実践型研修期間として開設した「海の民学舎」を運営 ○運営主体: 海の民学舎運営協議会(漁業団体、京都府、沿海市町等で構成) ○内 容: [1年目] 海洋センター等での講義・実習による、漁業の知識・技術の習得 [2年目] 漁村に定住し、漁業現場で実地研修 ■新規就業者ステップアップ事業 375,000円 新規就業者や若手漁業者の経営力向上を目的に、経営ノウハウの習得を支援 ○運営主体: 海の民学舎運営協議会 ○内 容: 専門家を招聘し、基礎・応用講座を計5回実施 					
	目 的 ・ 目 標	漁業の後継者を育成する実践型研修期間を運営するとともに、新規就業者の漁船・漁具の整備を支援することにより漁業の担い手の育成・確保を図る。			成 果	3期生(H29~H30) 1名が新たに宮津市内で就業。				
期 待 さ れ る 効 果	若手漁業者の育成による漁業従事者の確保及び後継者不足の解消、漁村への定住。			[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] ■新規就農者、新規就漁者数 R1目標: 6人⇒ R1実績: 2名 (R2目標: 9人)						
市民参加 の状況				課 題 ・ 検 証	入学舎者数のさらなる確保					
				担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1626	41		

(単位:円)

事業名	次世代人材育成事業			継続	ビジョン 基本施策	ビジョン 重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略			
					総合戦略 政策パッケージ			2. みやづを担う次代の人づくり		
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
4,630 千円	9,268 千円	12,650 千円	12,650,000		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.10:宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、本市独自の方針として「みやづを担う次代の人づくり」を設定 ・H28.8~:市内高校と連携した人材育成、創業セミナー等を実施 ・H29.11.1:宮津市地域おこし協力隊(提案型)3名を委嘱 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■提案型地域おこし協力隊の活動 11,550,936円 提案型地域おこし協力隊員3名を引き続き委嘱 地域団体等の活動支援などの地域協力活動や、起業に向けた実証実験等を実施 ■市内高校との連携事業 20,000円 将来のみやづを担う人材の育成を目的に、市内の高校と連携し、生徒が「しごと」に対して向き合う講座等を開催 ・宮津高等学校 人材育成カリキュラムに参加、生徒の調査研究に協力等 ・海洋高等学校 低未利用魚の商品化研究の一環として事業者とのワークショップ等 ■新春経済講演会への地元高校生の参加 27,500円 水産関係の次世代人材育成を図るため、宮津商工会議所主体の新春経済講演会(R2.2.25)への京都府立海洋高等学校生徒の参加を支援した。 主 催:宮津商工会議所 テーマ:水産資源から世界の人々に健康を 講 師:細見 典男(日本水産株式会社 相談役)(宮津市出身) 受講者:148名(うち、海洋高校生徒約40人) 市所有バスによる移送 27,500円 					
目的・目標	観光産業の振興及び海・里・山の地域資源を活かした内発型産業の創出を具現化するため、自らしごとを生み出す人材の育成を行う。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ■高校と連携した人材育成事業については、各学校の特色を活かしながら地域の魅力等について学ぶ講座を実施し、生徒が将来の働き方について考える機会を設けた。 					
期待される効果	地域資源を活用し自らしごとを生み出す新規起業家や第二創業者を輩出する。				[宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略 KPI] <ul style="list-style-type: none"> ■地域おこし協力隊員数 R1目標:23人 ⇒ R1実績:0人 (R2目標:述べ100人(5年間で)) 					
市民参加の状況				課題・検証	地域おこし協力隊員の任期終了後の定住に向けた主たる活動の確立					
				担当部・課・係	企画財政部 企画課 定住・空家対策係 産業経済部 商工観光課 商工係	TEL	45-1607 45-1663	43		

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	大学等地域活動連携推進事業			新規	ビジョン基本施策	ビジョン重点戦略				定住促進戦略																
					総合戦略政策パッケージ	3. みやづへ人の流れをつくる																				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算																
千円	千円	千円	千円		国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																	
—	—	600	600,000	554,000		277,000			277,000	1,000																
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・H27.10：宮津市まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「みやづへの人の流れをつくる」を設定 ・6大学等と連携協定締結 京都府立大学、大和学園、京都産業大学、立命館大学、京都大学経営管理大学院、二本松学院、福知山公立大学 			事業実績	■宮津市大学等連携事業補助金 554,000円 2大学から、本市の課題等に対する解決策4プロジェクトの提案を受け、地域団体と協働して事業を実施した。																					
					<table border="1"> <thead> <tr> <th>プロジェクト名</th> <th>大学等</th> <th>協働団体</th> <th>取組概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域資源の活用と発信に向けた協働事業</td> <td rowspan="3">京都大学</td> <td>上宮津21夢会議</td> <td>学生による地域資源探索、ブータン×ミャンマー×京都大学・合同フィールド実習等</td> </tr> <tr> <td>世代間交流促進を通じた日置コミュニティ活性化事業</td> <td>日置地域会議</td> <td>世代間交流に係る対話型聞き取り調査及び全戸アンケート調査、日置探求等</td> </tr> <tr> <td>まごころ市地域賑わい拠点事業</td> <td>宮津まごころ市組合</td> <td>購買者満足度調査及び結果解析・報告等</td> </tr> <tr> <td>上宮津地域ビジョン策定のためのわかものヒアリングプロジェクト</td> <td>福知山公立大学</td> <td>上宮津地域会議</td> <td>上宮津在任の若者・子育て世代、UIJターン者への聞取調査、上宮津わかもの会議の実施等</td> </tr> </tbody> </table>						プロジェクト名	大学等	協働団体	取組概要	地域資源の活用と発信に向けた協働事業	京都大学	上宮津21夢会議	学生による地域資源探索、ブータン×ミャンマー×京都大学・合同フィールド実習等	世代間交流促進を通じた日置コミュニティ活性化事業	日置地域会議	世代間交流に係る対話型聞き取り調査及び全戸アンケート調査、日置探求等	まごころ市地域賑わい拠点事業	宮津まごころ市組合	購買者満足度調査及び結果解析・報告等	上宮津地域ビジョン策定のためのわかものヒアリングプロジェクト	福知山公立大学
プロジェクト名	大学等	協働団体	取組概要																							
地域資源の活用と発信に向けた協働事業	京都大学	上宮津21夢会議	学生による地域資源探索、ブータン×ミャンマー×京都大学・合同フィールド実習等																							
世代間交流促進を通じた日置コミュニティ活性化事業		日置地域会議	世代間交流に係る対話型聞き取り調査及び全戸アンケート調査、日置探求等																							
まごころ市地域賑わい拠点事業		宮津まごころ市組合	購買者満足度調査及び結果解析・報告等																							
上宮津地域ビジョン策定のためのわかものヒアリングプロジェクト	福知山公立大学	上宮津地域会議	上宮津在任の若者・子育て世代、UIJターン者への聞取調査、上宮津わかもの会議の実施等																							
目的・目標	本市が抱える課題を解決するための調査研究や地域等とのワークショップの開催、フィールドワーク等に要する経費を大学側へ支援することにより、本市をフィールドとした大学の研究等の後押しによる人の流れをつくとともに、大学側のリソースを活用し、本市の課題解決を図ることを目的とする。			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・課題等の洗い出しによる具体的な提案や基礎調査のまとめなど、大学側のリソースを活用することで地域の将来を考えていくきっかけとなった。 ・大学と地域団体等が協働して事業を進めることで、本市への人の流れを作り、関係人口の創出に寄与した。 																					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・大学等の研究フィールドワークに本市を活用することによる人の流れの創出 ・地域課題の解決 																									
市民参加の状況				課題・検証	新たな視点での地域課題解決の取組となり、協働団体の意欲が高まった。																					
				担当部・課・係	企画財政部 企画課 定住・空家対策係	TEL	45-1607		44																	

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	幼児教育・保育無償化の実施 (児童福祉事務事業、民間保育園運営事業、認定こども園運営事業、子育てのための施設等利用給付事業等)			充実	ビジョン 基本施策	健康増進と福祉の推進	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
	総合戦略 政策パッケージ				4. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる					
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
歳入決算 53,520 千円	歳入決算 51,355 千円	歳入予算 42,221 千円	歳入予算(保育所保育料) 29,621,000		歳入決算額(保育所保育料) 30,012,270	国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
実施前の方針等(予算説明資料から転記)					実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容					
背景・経緯	<p>・平成27年度に子ども・子育て支援新制度が施行し、「宮津市子ども・子育て支援事業計画」の重点プロジェクトとして保育所保育料の大幅な引き下げを実施。</p> <p>・子ども・子育て支援法の一部を改正する法律等が令和元年5月に成立、同10月より幼児教育・保育の無償化を実施。</p>			事業実績	<p>■ 幼児教育・保育無償化の実施 (無償化に伴う保育料等減収分は国10/10補てん)</p> <p>令和元年10月から幼児教育・保育の無償化を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園、保育所、認定こども園を利用する3～5歳までの全ての子ども及び非課税世帯の0～2歳の子どもに係る利用者負担額を無償化 ・ 年収360万円未満相当世帯及び第3子以降の子どもに係る副食費を免除 ・ 私立幼稚園を利用する低所得世帯及び第3子以降の子どもに係る副食費相当を補足給付 ・ 認可外保育施設等を利用する保育を必要とする3～5歳の子どもの施設利用料、幼稚園の預かり保育利用料を無償化(子育てのための施設等利用給付) ・ 無償化実施に伴う事務費等 システム改修費、臨時職員賃金等 6,896,109円(府費10/10) 					
目的・目標	<p>子育て世帯の経済的負担を軽減し、安心して子育てできる環境づくりを推進する。</p>			成果	<p>保育所保育料及び幼稚園保育料の無償化により、子育て世帯の経済的負担の軽減が図られ、子どもを生み育てやすい環境づくりが推進された。</p>					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育てにかかる経済的負担の軽減 ・ 子どもを生み育てやすい環境の推進 									
市民参加の状況				課題・検証						
				担当部・課・係	健康福祉部社会福祉課子育て支援係	TEL	0772-45-1621	57・58・59・60		

(単位:円)

事業名	公民館整備事業			充実	ビジョン 基本施策	—				ビジョン 重点戦略	—	
					総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する						
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算		
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源			
4,450 千円	千円	7,500 千円	7,500,000	4,238,080			4,000,000			238,080	88,600 千円	
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容								
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> 施設の老朽化により、大規模改修または建設整備が必要となっている日置地区公民館について、旧日置中学校を利活用し、移転整備する。 H26年4月 日置中学校を橋立中学校に統合(H29年3月廃校) H30年7月 日置地区自治連合会から「旧日置中学校の校舎を地区公民館・連絡所として活用すること」などについての要望 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■日置地区公民館移転工事实施設計委託ほか 1,257,080円 旧日置中学校校舎の一部を日置地区公民館(地区連絡所機能を含む。)に改修整備するための実施設計を委託した。 <ul style="list-style-type: none"> ・実施設計委託料 1,100,000円 ・建築確認申請手数料ほか 157,080円 ■府中地区公民館屋上防水工事 2,981,000円 令和元年4月の大風により、剥離した屋上防水シートを緊急に改修したもの。 							
	目 的 ・ 目 標	日置地区公民館を旧日置中学校校舎に移転整備し、生涯学習及び住民活動の基盤整備を行うことにより、地域コミュニティの活性化、生涯学習の推進を図る。			成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休施設となっている旧日置中学校を公民館として活用することにより、遊休施設を活用した公共施設の再編が図れるとともに、地域コミュニティの活性化、生涯学習の推進が図れる。 						
期 待 される 効 果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活性化 ・地域住民の生涯学習の意欲の向上 			課 題 ・ 検 証		<ul style="list-style-type: none"> ・施設の定期的な改修、修繕により長寿命化を図る。 						
市民参加 の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用者状況 日置地区公民館 H29 1,731人 H30 1,755人 R元 1,734人 				担当部・課・係	教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係	TEL	45-1642		66		

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	まちづくり応援事業			継続	ビジョン 基本施策	—	ビジョン 重点戦略	定住促進戦略		
					総合戦略 政策パッケージ	5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する				
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
53,824 千円	45,990 千円	71,384 千円	70,824,000	42,905,332				4,600,000	38,305,332	59,695 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> 地域会議：H19より各地区で地域会議設置。現在全地区で地域会議設立。各地区の特色に応じ、様々なまちづくり活動が展開 まちづくり補助金等：H20のふるさと寄附税制、市民3大プロジェクトを契機に、まちづくり補助金を創設。以降、コミュニティ助成金等とともに多くの市民活動を支援。 ふるさと宮津応援寄附：H27からインターネットサイトでの受付、クレジットカード決済を導入し、寄附しやすい環境を整備 			事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ■地域会議交付金 1,100,000円 (11地域会議×100,000円) 地域住民による地域課題解決のための会議体「地域会議」への活動支援 ・11地域会議…宮津中部、宮津西部、宮津東部、宮津城南部、上宮津、由良、府中、日置、世屋、養老、日ヶ谷 ■宮津市まちづくり補助金 460,000円 (2団体) 市民団体等によるまちづくり活動への支援(市民による審査会において内容審査) ・大河ドラマ「麒麟がくる」宮津市推進協議会：観光資源の開発とPR(370千円) ・時の響き実行委員会：歴史文化の発信・ふるさと学習等を行う芸術祭の実施(90千円) ■宮津市コミュニティ助成金 4,600,000円 (3団体) (一財)自治総合センターの助成制度を活用し、自治会のコミュニティ活動を支援 ・祭用備品整備：須津自治会(1,100千円) ・集会所備品整備：城東自治会(1,200千円)、浜自治会(2,300千円) ■ふるさと宮津応援寄附の推進 36,745,332円 (寄附件数 4,484件、寄附金額 85,481,411円) 納税サイト等を通じた全国に向けてのPR、寄附受付と返礼品の送付等 ※新たな商品造成 ・「さといこ」サイト内に体験型返礼品を造成(R元年7月～) ・「ふるさとチョイス」サイト内に高島屋セレクトの新たな返礼品を造成(R元年10月～) 					
目的・目標	<ul style="list-style-type: none"> 市民と行政の協働の重要な核となる地域会議活動を充実させるとともに、市民や地域等におけるまちづくり活動を促進し、市民と行政の協働を推進する。 全国的なふるさと納税ブームや、インターネットサイト活用による利便性の向上を踏まえ、ふるさと宮津応援寄附年間1億2,000万円を目標とする。 			成果	<ul style="list-style-type: none"> ・地域会議交付金：地域の課題解決事業等を支援し、市民協働を推進できた。 ・まちづくり補助金：市民団体等によるまちづくり活動を支援することができた。 ・コミュニティ助成事業：地域コミュニティの更なる結束に貢献することができた。 ・ふるさと宮津応援寄附の推進：ふるさと製品の充実や納税サイトへの業務委託、クレジットカード決済の実施等により、寄附額を確保することができた。 					
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・市民によるまちづくり活動、地域活動の拡大 ・地域コミュニティのより一層の充実 ・産品を通じて市の魅力を市内外に発信 									
市民参加の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域会議：地域課題解決のための会議体への参画等 ・まちづくり補助金、コミュニティ助成金：多くの市民活動の促進 ・ふるさと宮津応援寄附：宮津市のPR、寄附を依頼 			課題 検証	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな返礼品の開発 ・写真など、返礼品の見せ方の再考 					
				担当部・課・係	企画財政部 企画課 定住・空家対策係 魅力発信係	TEL	45-1607 45-1609	68		

(単位:円)

事業名	有害鳥獣対策事業			継続	ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略																																									
					総合戦略政策パッケージ	—																																											
H29決算	H30決算	R1当初予算	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算																																							
千円	千円	千円	千円		国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源																																								
千円	13,849 千円	14,333 千円	73,226,000	73,166,603		38,625,420	20,600,000		13,941,183	24,390 千円																																							
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容																																													
背景・経緯	<p>H26.4月～ニホンザル宮津A群の個体数調整(群れ捕獲)を実施 H26.6月～宮津市鳥獣被害対策実施隊を設置 H26.7月～実施隊「サル対策班」の追払い・捕獲活動を開始 H27.9月～実施隊「シカ対策班」の銃器による捕獲の実施 H29.3月 宮津市鳥獣被害防止計画(H29～H31)を策定 R2.3月 宮津市鳥獣被害防止計画(R2～R4)を策定 有害鳥獣処理施設及び中間保管施設を整備</p> <p>・従来、有害鳥獣駆除の捕獲個体は、20kg以下に解体し、清掃工場で焼却処分としてきたが、新たな広域ごみ処理施設(宮津与謝環境組合)への移転に伴い、新たな処分施設が必要となった。</p> <p>・令和元年度に、微生物による減溶化処理を行う「宮津市有害鳥獣処理施設」と捕獲鳥獣を冷凍保管する「宮津市有害鳥獣中間保管施設」を整備し、令和2年度から稼動することとした。</p>			事業実績	<p>■有害鳥獣の捕獲 11,822,000円(府補8,197,420円) イノシシ、ニホンジカ、ツキノワグマ、小動物等の捕獲・処分(宮津支部猟友会へ委託) ■有害鳥獣処理施設等の整備 58,610,924円(府補29,756,000円) ・有害鳥獣処理施設(場所:下世屋地内) 44,574,530円 市内で捕獲した有害鳥獣を減溶化処理、北部地域(府中以北)捕獲分の冷凍保管(整備内容)既存施設改修、処理装置、冷凍庫、運搬器具 ・有害鳥獣中間保管施設(場所:喜多地内) 12,835,790円 南部地域(吉津以南)捕獲分の冷凍保管(整備内容)土地造成、冷凍庫、運搬器具 ・その他(建築確認申請、消耗品等) 1,200,604円 ■ニホンジカ対策の強化 861,800円(府補364,000円) 広域捕獲(与謝野町と共同)、巻き狩り、狩猟期間中のシカ捕獲報奨金支給 ■ニホンザル対策の強化 1,085,765円 宮津市鳥獣被害対策実施隊によるサル出没地域でのパトロール、捕獲等 ■その他 786,114円(府補308,000円) 銃器購入補助、宮津市鳥獣被害対策運営協議会への補助ほか</p>																																												
	目的・目標	<p>有害鳥獣被害に対応するため、駆除対策、防除対策、生息環境管理対策を猟友会や地域と一体となって総合的に実施することにより、農林業及び生活環境への被害の低減を図る。</p>			成果	<p>・捕獲頭数実績(R1)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>イノシシ</th> <th>シカ</th> <th>クマ</th> <th>サル</th> <th>小動物</th> <th>鳥類</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>捕獲頭数</td> <td>633</td> <td>414</td> <td>22</td> <td>9</td> <td>100</td> <td>0</td> <td>1,178</td> </tr> <tr> <td>前年度比</td> <td>+19</td> <td>+74</td> <td>+2</td> <td>0</td> <td>+9</td> <td>0</td> <td>+104</td> </tr> </tbody> </table> <p>・有害鳥獣の被害の減少(各農家組合からの報告による)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>(R1-H30)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被害面積(a)</td> <td>330</td> <td>454</td> <td>379</td> <td>△75</td> </tr> <tr> <td>被害額(千円)</td> <td>4,331</td> <td>5,463</td> <td>4,428</td> <td>△1,035</td> </tr> </tbody> </table>						種類	イノシシ	シカ	クマ	サル	小動物	鳥類	計	捕獲頭数	633	414	22	9	100	0	1,178	前年度比	+19	+74	+2	0	+9	0	+104	年度	H29	H30	R1	(R1-H30)	被害面積(a)	330	454	379	△75	被害額(千円)	4,331	5,463	4,428
種類	イノシシ	シカ	クマ	サル		小動物	鳥類	計																																									
捕獲頭数	633	414	22	9	100	0	1,178																																										
前年度比	+19	+74	+2	0	+9	0	+104																																										
年度	H29	H30	R1	(R1-H30)																																													
被害面積(a)	330	454	379	△75																																													
被害額(千円)	4,331	5,463	4,428	△1,035																																													
期待される効果	<p>・有害鳥獣による農林業及び生活環境への被害の低減 ・営農意欲の低下や荒廃農地の発生防止</p>			課題・検証	<p>・ニホンザルの被害防止対策、急増しているニホンジカの駆除対策の強化 ・有害鳥獣の捕獲に従事する担い手の確保、捕獲鳥獣のジビエ活用 ・処理施設(微生物による減溶化処理)、中間保管施設の効率的な安定稼動</p>																																												
市民参加の状況	<p>・捕獲檻の見回りやサルの追払い活動など、地域住民の被害低減に向けた取組 ・宮津市野生鳥獣被害対策運営協議会への参画(地区農家組合、猟友会、関係機関・団体等で構成)</p>				担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 農林水産係	TEL	45-1626	86																																								

令和2年9月定例会

令和元年度決算 事業等説明資料

(単位:円)

事業名	海岸保全施設整備事業			ビジョン基本施策	観光を基軸とした産業振興	ビジョン重点戦略	自立循環型経済社会構造への転換戦略			
				総合戦略政策パッケージ	—					
H29決算	H30決算	R1当初予算 ※前年度繰越し含む	R1最終予算額	R1決算額	財 源 内 訳					R2予算
					国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源	
103,474 千円	55,110 千円	125,742 千円	125,742,960	90,241,960	45,120,500	15,039,000	28,400,000	1,418,907	263,553	80,000 千円
実施前の方針等(予算説明資料から転記)				実績、成果等(決算説明)・過去の議会からの意見及びその対応内容						
背景 経緯	栗田半島東側に位置する海岸については、背後地は人家が密集しており、離岸堤が設置されていない箇所において、波浪時には非常に危険な状態である。			事業実績	■海岸保全施設整備事業 90,241,960円(繰越分45,741,960円+現年44,500,000円) ○事業地区 栗田漁港海岸地区(脇地区) ○事業内容 離岸堤(消波ブロックの製作・設置) ○事業費 工事費 45,741,960円(繰越) 脇地区離岸堤1号基 L=55m 44,500,000円(現年) 脇地区離岸堤2号基及び3号基の一部(前払金のみ) (工事費 35,500,800円 R2へ繰越) <参考> 全体計画:脇 3基、小寺 1基、小田宿野 3基					
	目的 目標	海岸については、離岸堤の設置により波浪等から海岸を防護し、背後住民の生命・財産の保全を図る。			成果	・脇地区の離岸堤1基が整備により、海岸防護ができたため、背後住民の生命・財産等の安全性の向上が図れた。				
期待される効果	背後住民の生命・財産の保全			課題 検証		・未整備地区における安全性の向上のため、引続き事業進捗を図る。				
市民参加の状況					担当部・課・係	産業経済部 農林水産課 産業基盤係	TEL	45-1627	90	